



地理統計データベース GEOSTAT

地理統計情報株式会社

GEOSTAT 第2版

かんたん手順書

目次

■基本操作1 地図の表示・重ね合わせ	4
地図の表示、重ね合わせなどの操作を紹介します。	
表示範囲の設定	
地図の表示	
プロジェクトの保存と終了	
■基本操作2 統計データの地図表示	12
統計データの地図表示などの操作を紹介します。	
プロジェクトの読み込み	
統計データの読み込み	
統計データの地図表示	
■基本操作3 データ加工編集	23
データの加工編集方法を紹介します。	
加工編集の概要	
項目演算	
並び替え	
■基本操作4 背景図の機能	30
G E O S T A Tの背景図の機能について紹介します。	
標高の表示設定	
行政界の年月日指定	
マスクの作成	
■基本操作5 データの入出力	39
データの入出力について紹介します。	
CSV ファイル	
シェープファイル	
■基本操作6 印刷レイアウト	42
地図を印刷するためのレイアウトの作成を紹介します。	

■ 基本操作1 地図の表示・重ね合わせ

農地の地目別分布を標高データと重ねて表示します。地図をわかりやすく表示するためには、主題図以外に背景図が必要です。GEOSTATには標高、地形図、行政界などの背景図が準備されています。

(操作手順)

①

「GEOSTAT」の起動
(アイコンのクリック)

都道府県界が表示されます。



②

表示範囲の設定
(拡大鏡ツールを使用)

表示対象地域を指定します。



③

背景図の表示
(背景レイヤのチェック)

指定範囲の背景が表示されます。



④

農地データの
読み込み

表と農地ポリゴンが表示されます。



⑤

属性による色分け
(レイヤの作成)

農地の色分けが表示されます。



⑥

標高背景図との重ね合わせ

(完成)



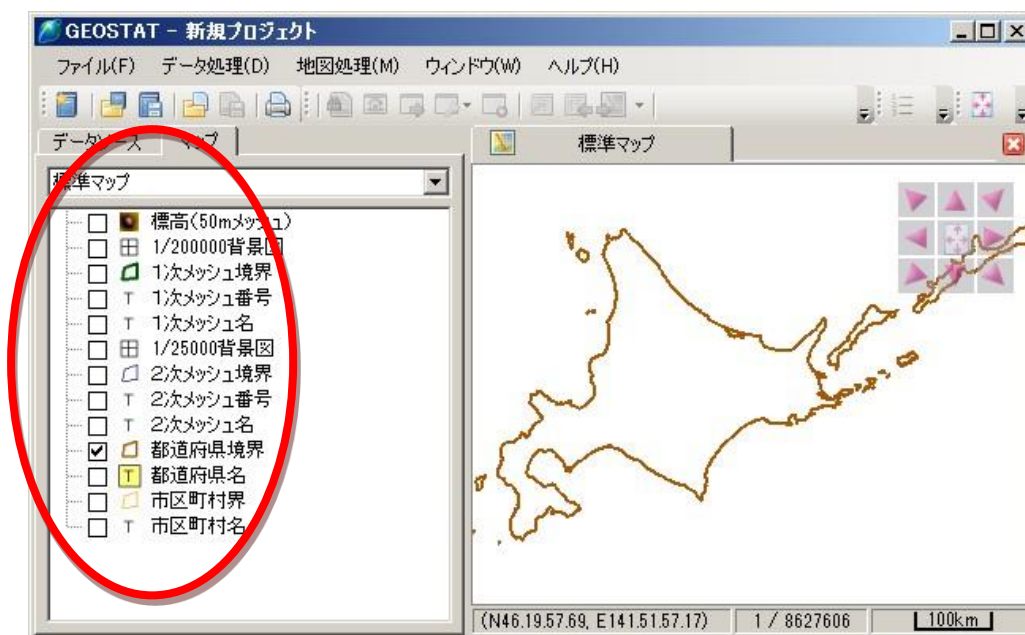
⑦

プロジェクトの保存と
終了

① GEOSTAT の起動

GEOSTAT のアイコンをダブルクリックして、システムを起動します。

初期画面が表示されます。背景図が読み込まれていることを確認してください。

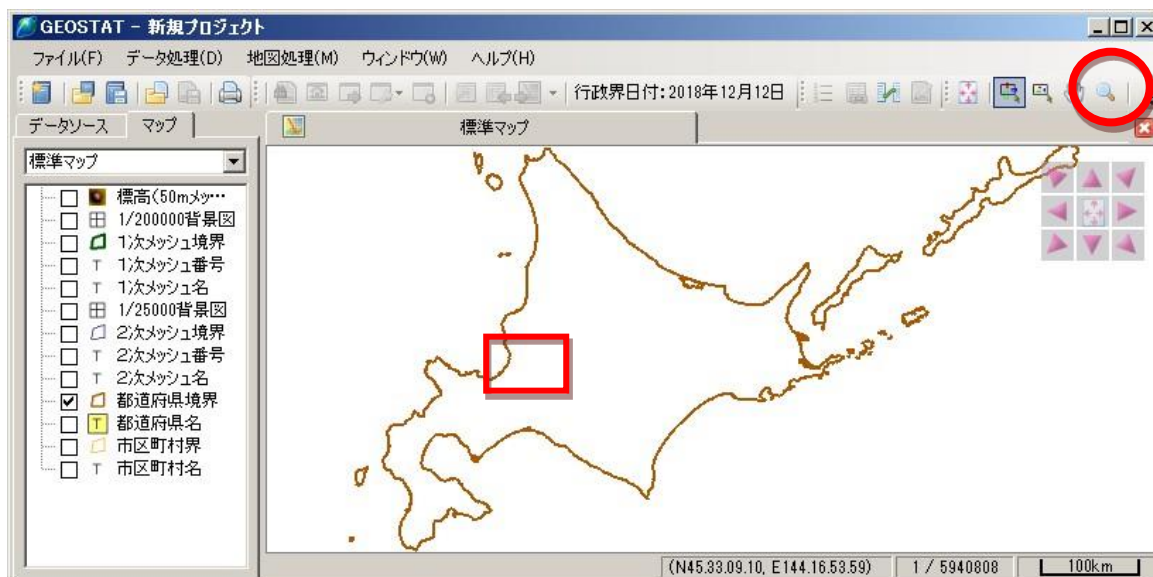


(最初に都道府県境界が表示されます。)

② 表示範囲の指定

表示範囲の指定に拡大鏡ツールを使います。拡大鏡ツールをクリックしてください。

表示したい範囲をドラッグにより、4角形で指定します。

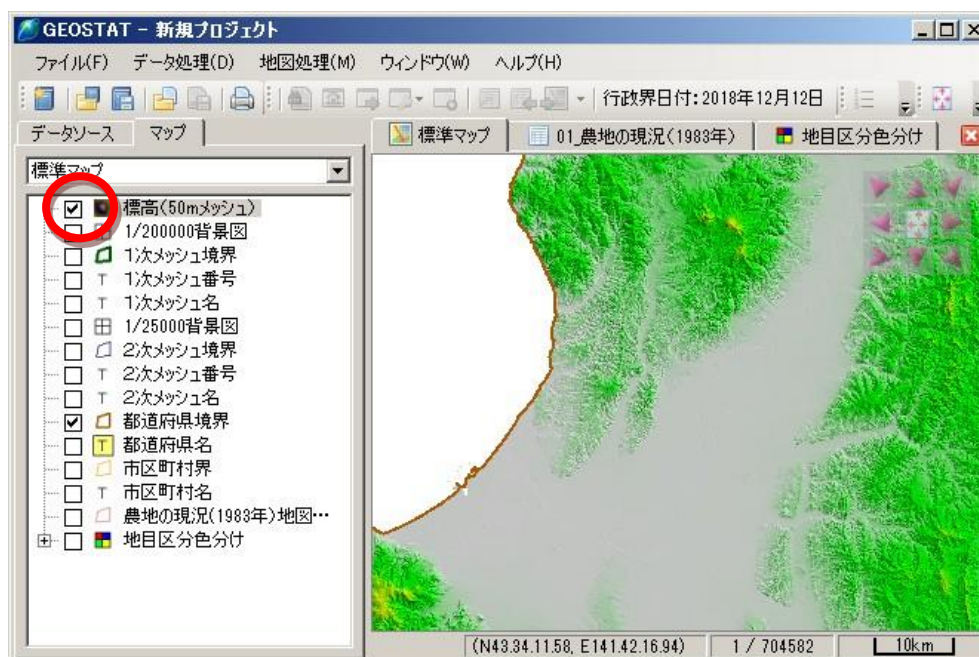


(拡大鏡ツールは、左クリックで拡大、右クリックで縮小です。)

③ 背景図の表示

背景図は、画面左側の各レイヤのチェックボックスにチェックを入れる则表示されます。

ここでは、標高(50mメッシュ)にチェックを入れます。



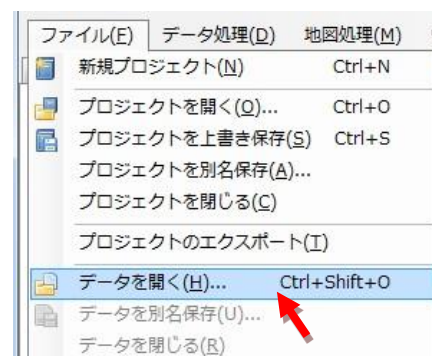
次に、画面左の 1/200000 地形図にチェックを入れて、表示をお試ください。なお、あらかじめ縮尺率によって表示する、しないを決めていますので、縮尺率との関係でチェックしても表示されないレイヤがあります。(レイヤを右クリックすると表示されるコンテキストメニューの「表示設定」により変更することができます。)

レイヤは「層」を意味する単語で、グラフィックスソフトで扱われる「描画用の透明なシート」を意味します。

ここでは、透明なシートに描かれた地図の意味です。

④ 農地データの読み込み

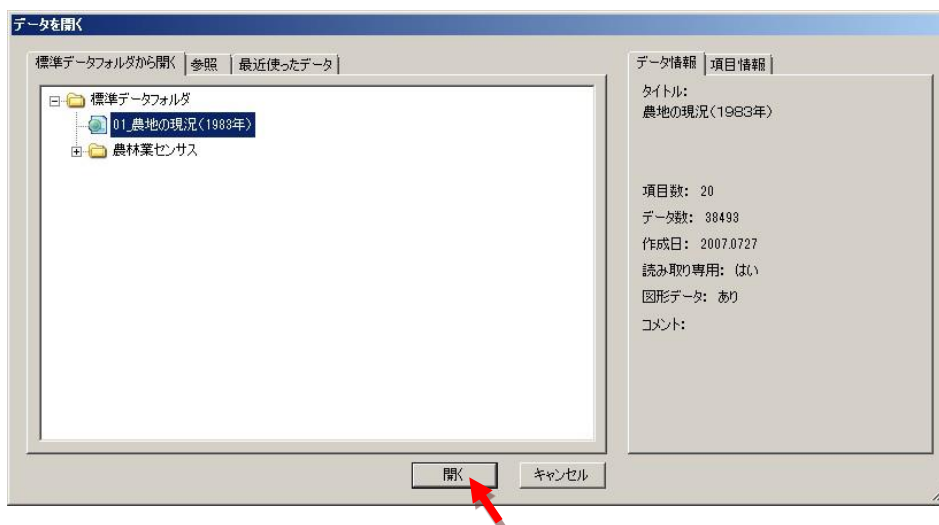
ファイルメニューより、「データを開く」を選択します。



データを開くパネルが表示されます。

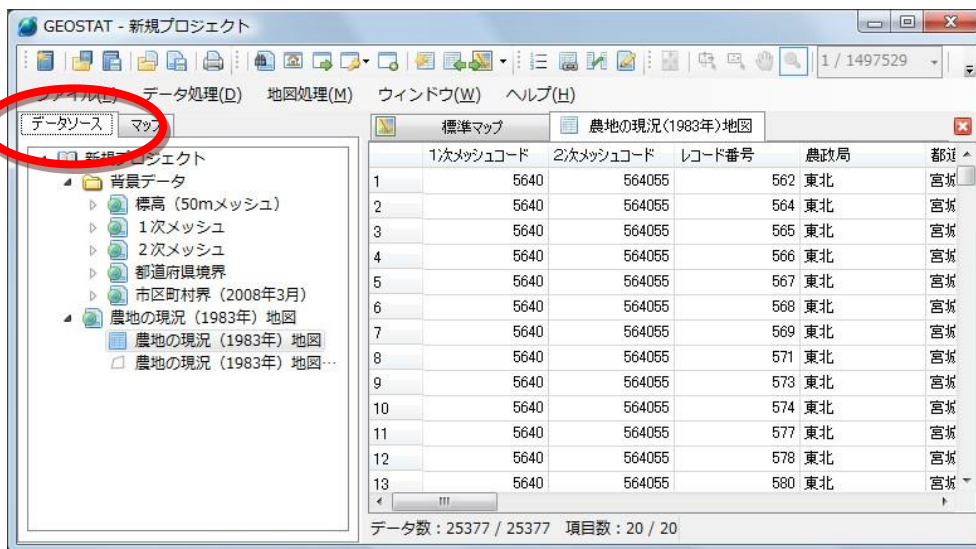
「標準データフォルダから開く」タブにあるフォルダ「農地の現況」を開きます(田をクリックするとフォルダが開きます)。

表示された「農地の現況(1983年)地図」を選択、「開く」をクリックします。



「農地の現況(1983年)地図」の属性データが表示されます。

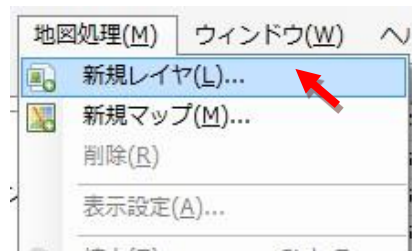
このとき、画面右の画面表示タブは、「マップ」から「データソース」に切り替わっています。
(元の画面に戻るには、「マップ」または「標準マップ」タブをクリックします。)



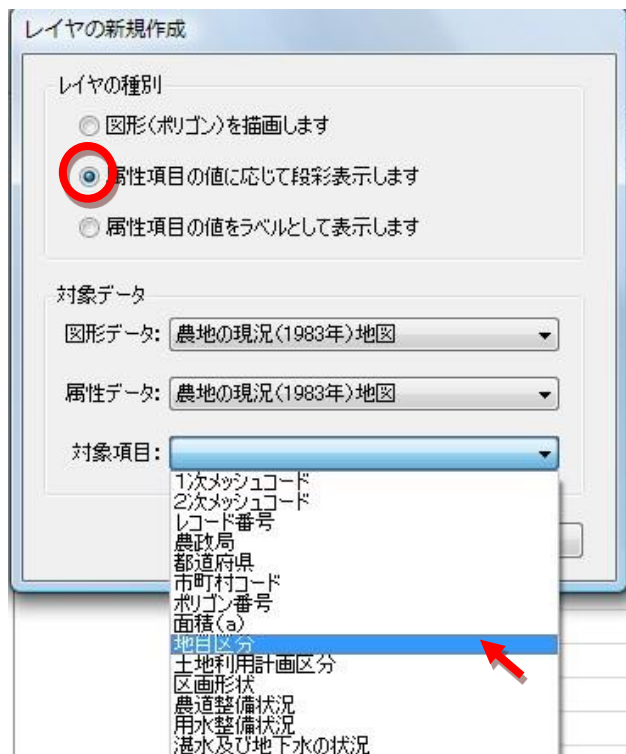
⑤ 属性値による地図の色分け

農地を属性に従って色分けして表示します。

地図処理メニューより、「新規レイヤ」を選択します。



「レイヤの新規作成」パネルが表示されます。



操作

「属性項目の値に応じて段彩表示します。」を選択します。

図形データ、属性データは、ともに

「農地の現況(1983年)地図」を指定します。

対象項目に「地目区分」を指定します。

「作成」をクリックします。

「レイヤ表示設定」パネルが表示されます。

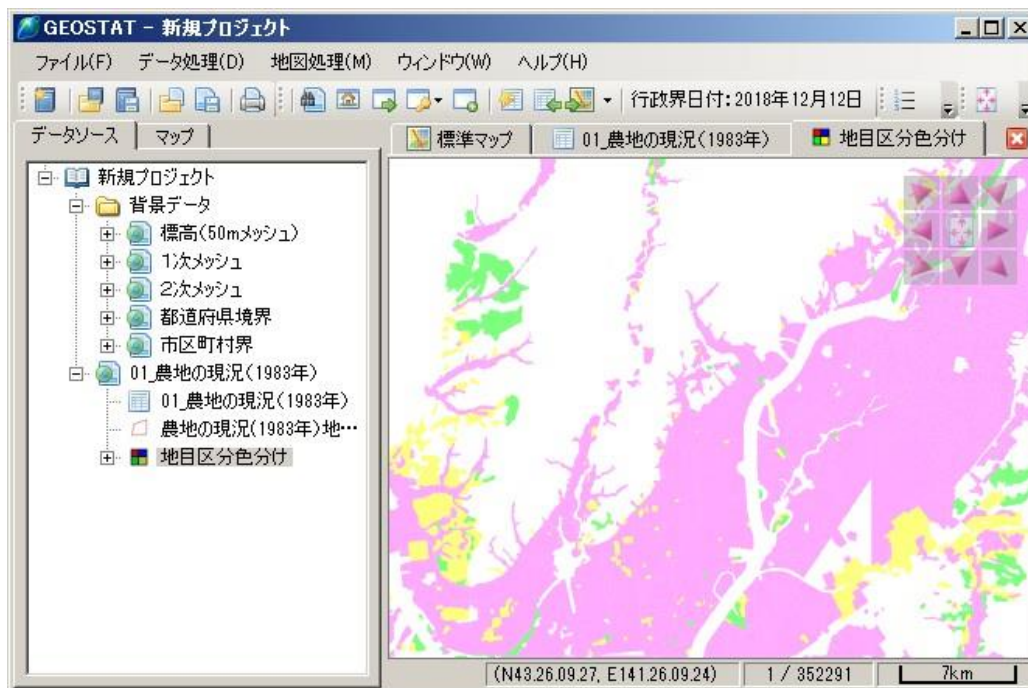
表示スタイル、凡例名(範囲名)が変更できます。

あとからでも表示設定を変更することができます。

「OK」をクリックします。



農地の現況(1983年)の地目区分色分けが表示されます。

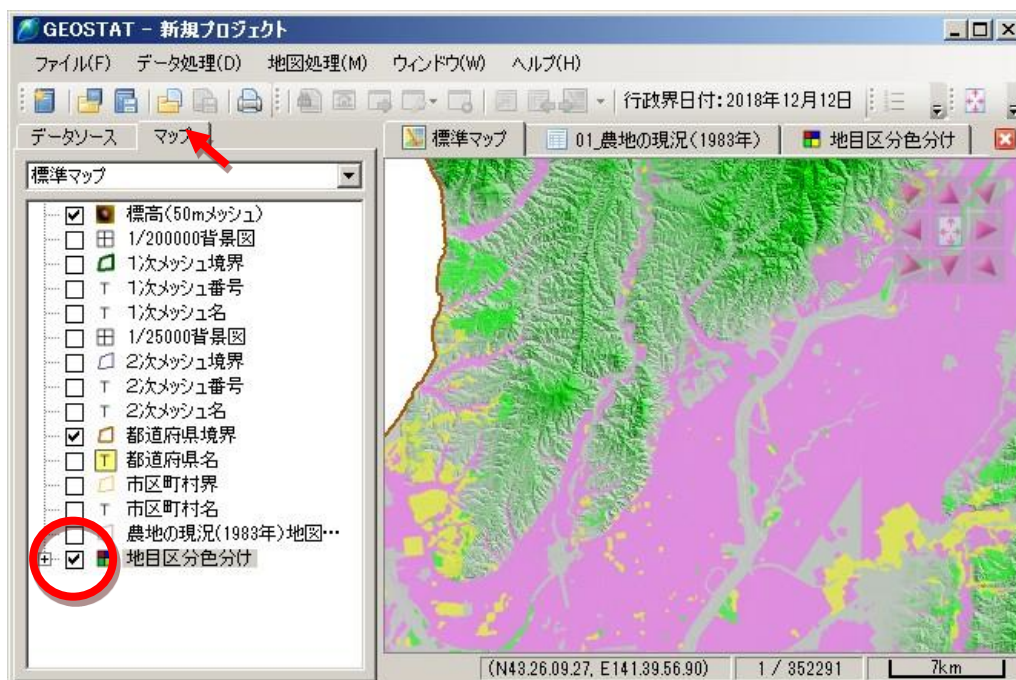


⑥ 背景図との重ね合わせ


データソース画面から「マップ」タブをクリックしてマップ画面に移動します。

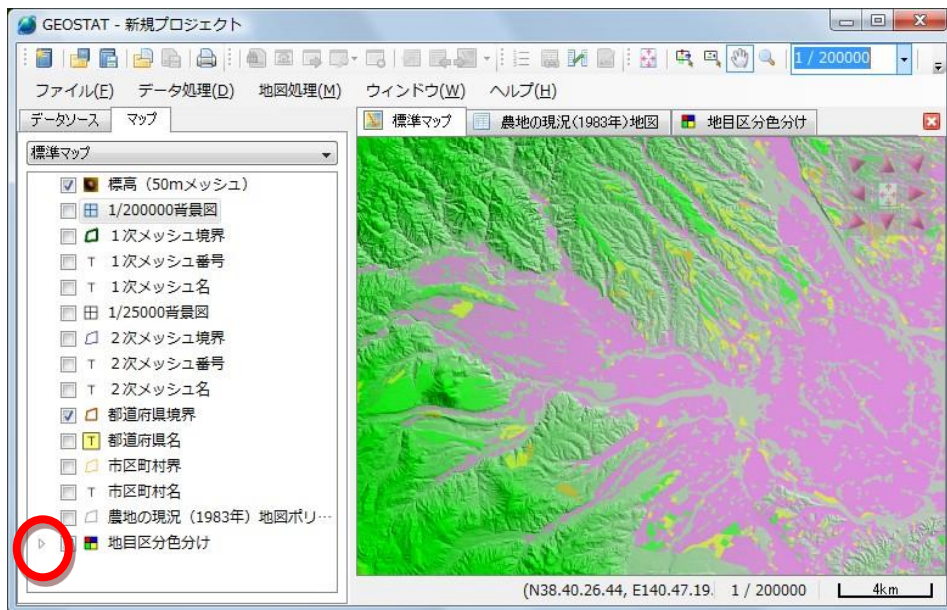
マップ画面では地目区分色分けレイヤができています。

「地目区分色分け」にチェックを入れますと、背景図と重ね合わせて表示されます。



(凡例の表示)

地目色分けの凡例を表示するには、 をクリックします。



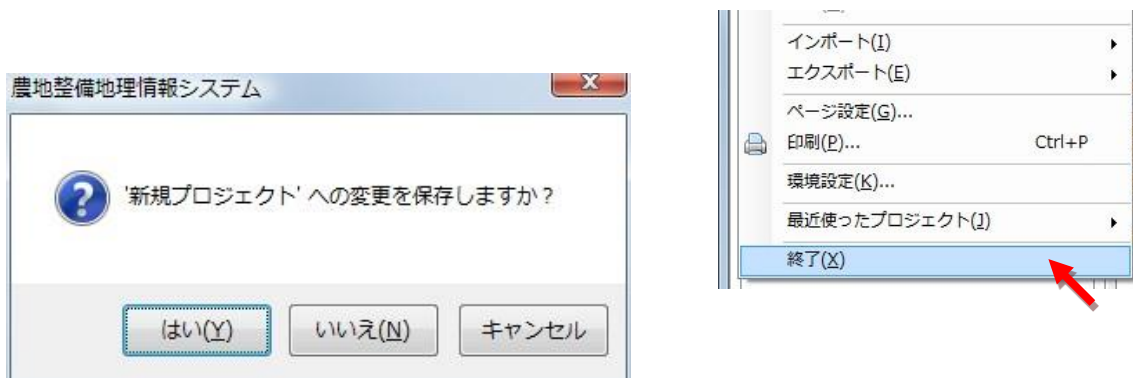
(移動ツール)

表示位置は、移動ツールをクリックし、ドラッグ&ドロップで地図を移動します。



⑦ プロジェクトの保存と終了

ファイルメニューの「終了」を選択し、GEOSTAT を終了します。



終了を選択すると「新規プロジェクトへの変更を保存しますか」が表示されるので、「はい」を選択します

名前を付けて保存します。ここでは「チュートリアル1」とします。

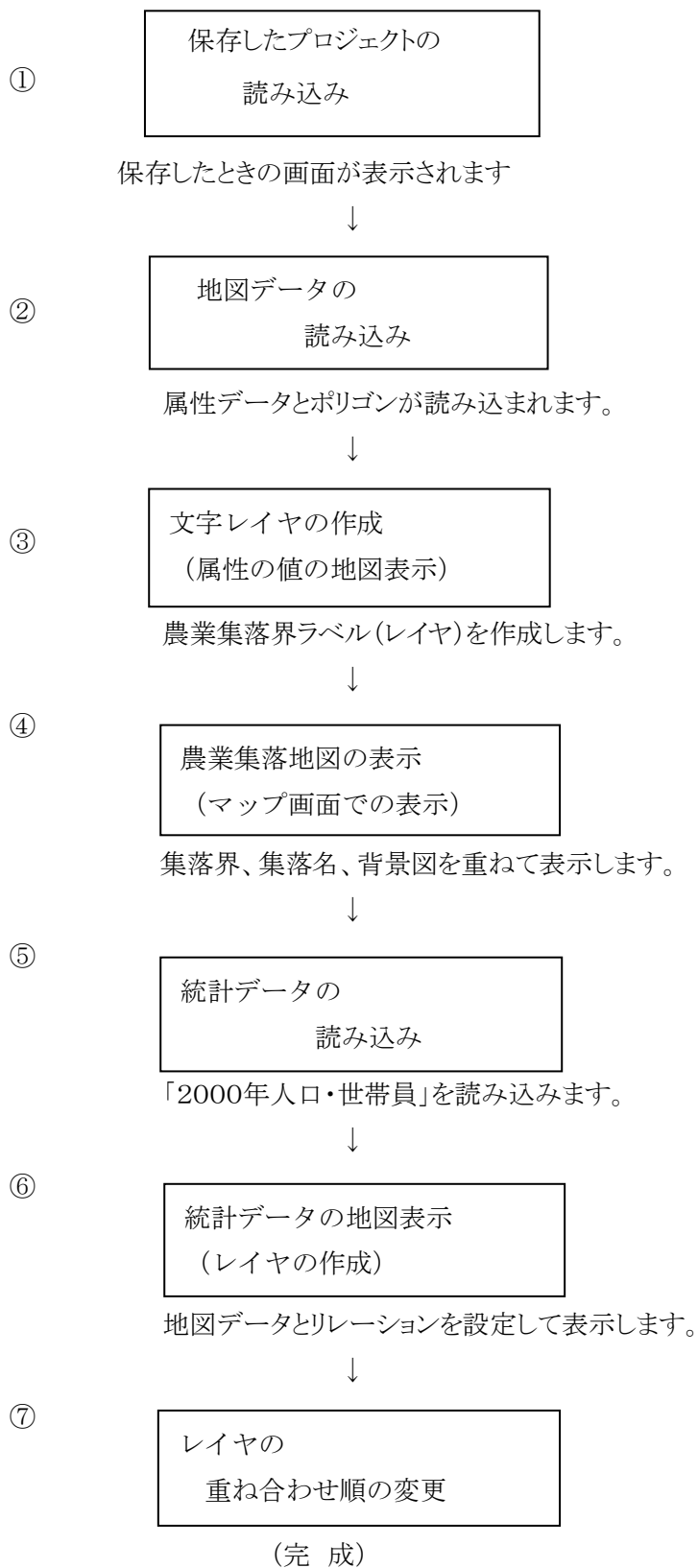


プロジェクトをファイルに保存しておくことで、地図の表示状態や作業内容が保存されますので、中断したところからの作業を行うことができます。

プロジェクトとは、データや作業内容、手順を保存するためのプロジェクトファイルを意味し、GEOSTATでは プロジェクトファイルに地図の表示に用いるデータや、表示範囲、表示設定などを保存しています。

■ 基本操作2 統計データの地図表示

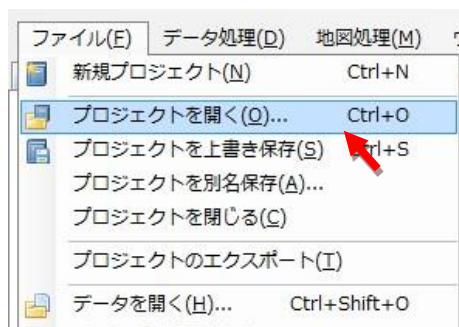
操作手順



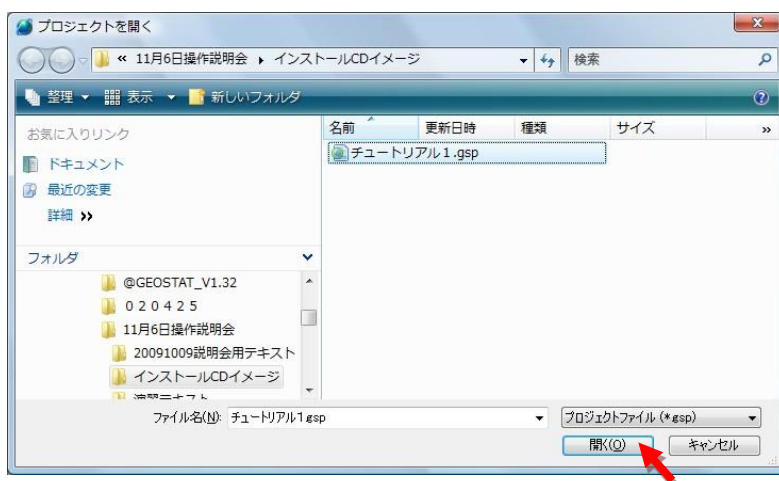
① プロジェクトの読み込み

GEOSTAT を起動します。

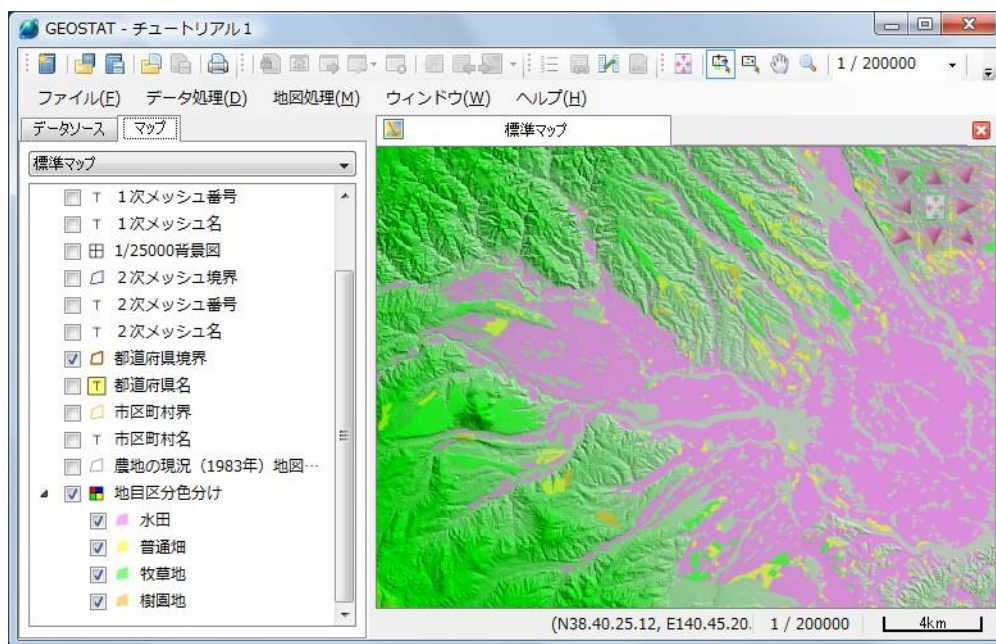
ファイルメニューより「プロジェクトを開く」を選択します。



「プロジェクトを開く」の画面が表示されます。



基本操作1で作成した「チュートリアル1」というプロジェクトファイルをクリックして、開きます。「チュートリアル1.gsp」が読み込まれ、保存したときの画面が表示されます。

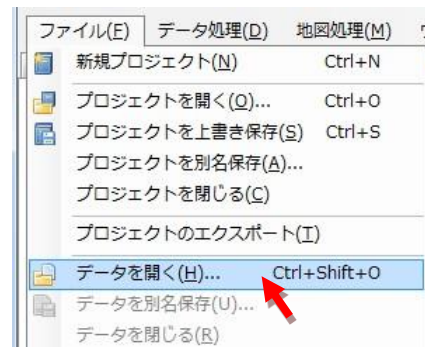


② 地図データの読み込み

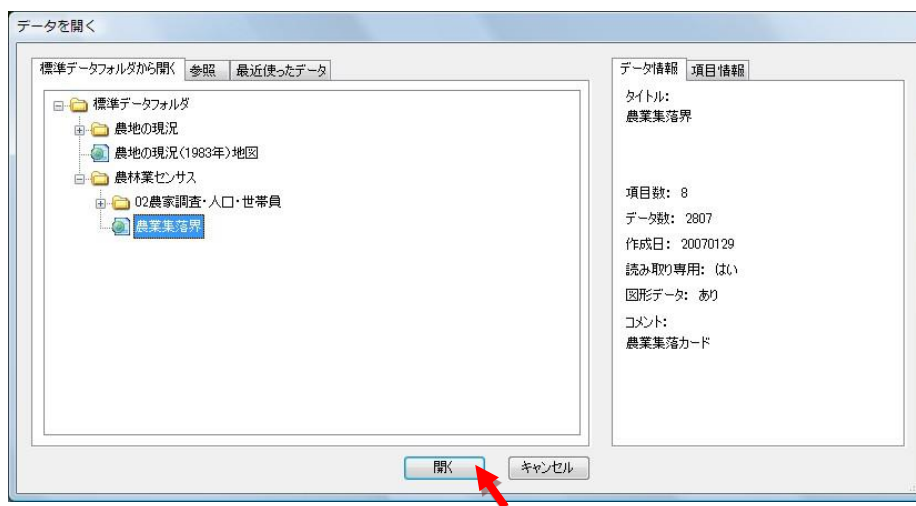
統計データを地図表示するため、地図データを読み込み、地図表示のためのレイヤを作成します。

ファイルメニューより、
「データを開く」を選択します。

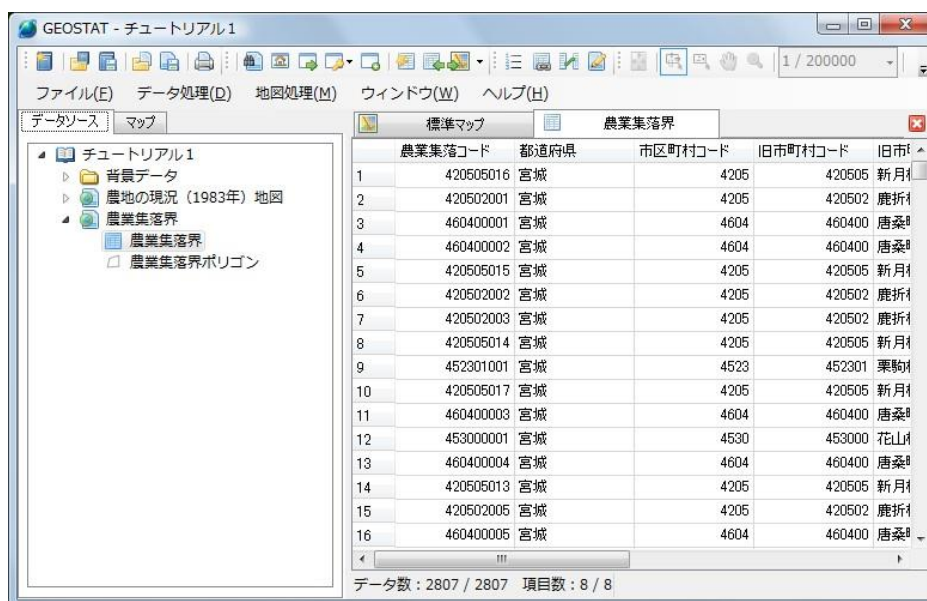
「データを開く」パネルが表示されます。



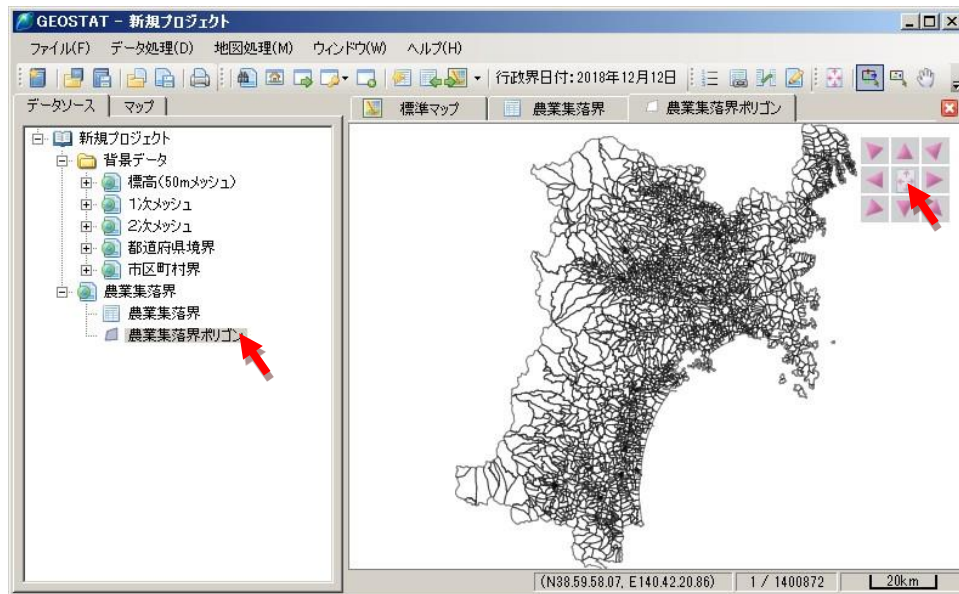
農林業センサスをダブルクリック、「農業集落界」を選択して、「開く」をクリックします。



農業集落界が読み込まれます。



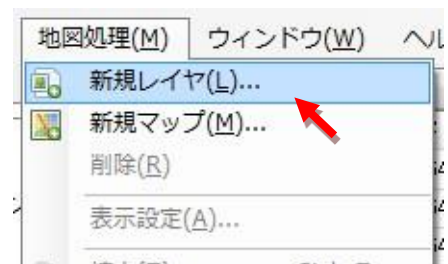
農業集落界ポリゴンをクリックし、移動方向キーの中心(中心描画キー)をクリックしますと、農業集落境界が表示されます。



③ 文字レイヤの作成

「農業集落名ラベル」を作成します。

地図処理メニューから、「新規レイヤ」を選択します。

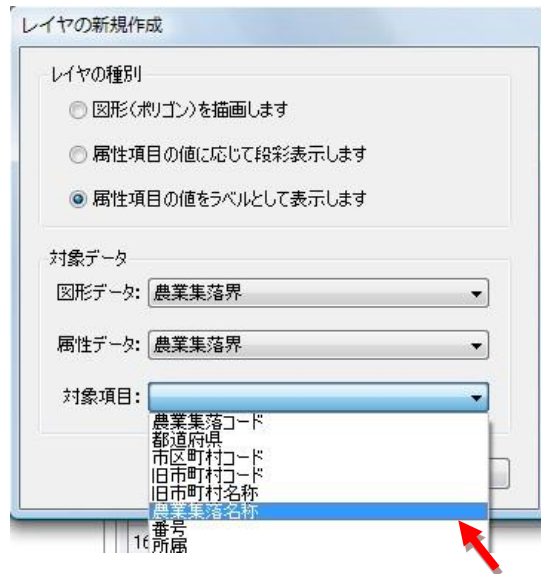


レイヤの新規作成パネルが表示されます。

「項目の値をラベルとして表示します」を選択します。

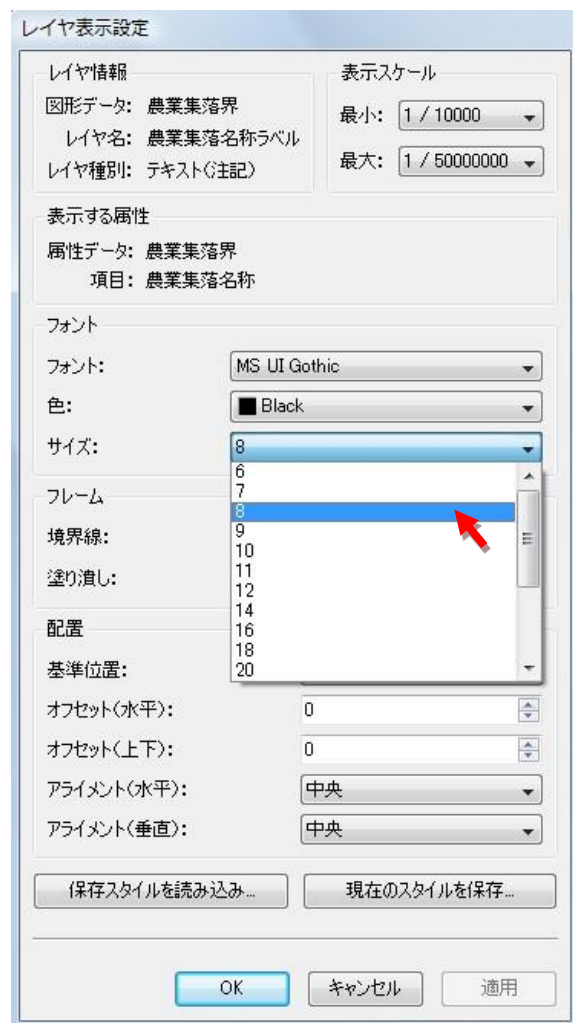


対象項目を選択し(ここでは農業集落名称)、「作成」をクリックします。

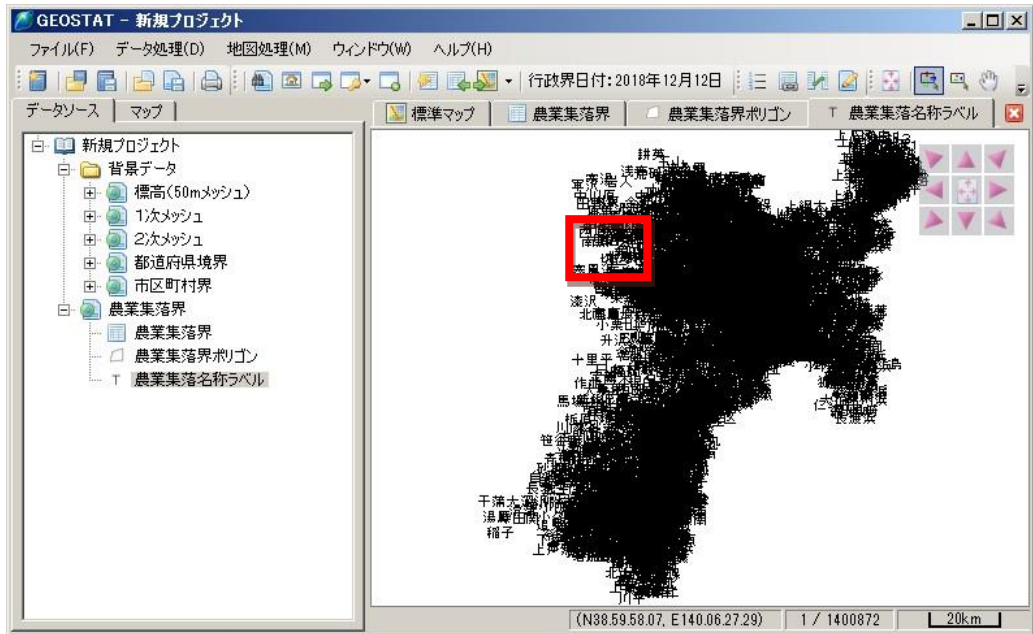


「レイヤ表示設定」パネルが表示されます。

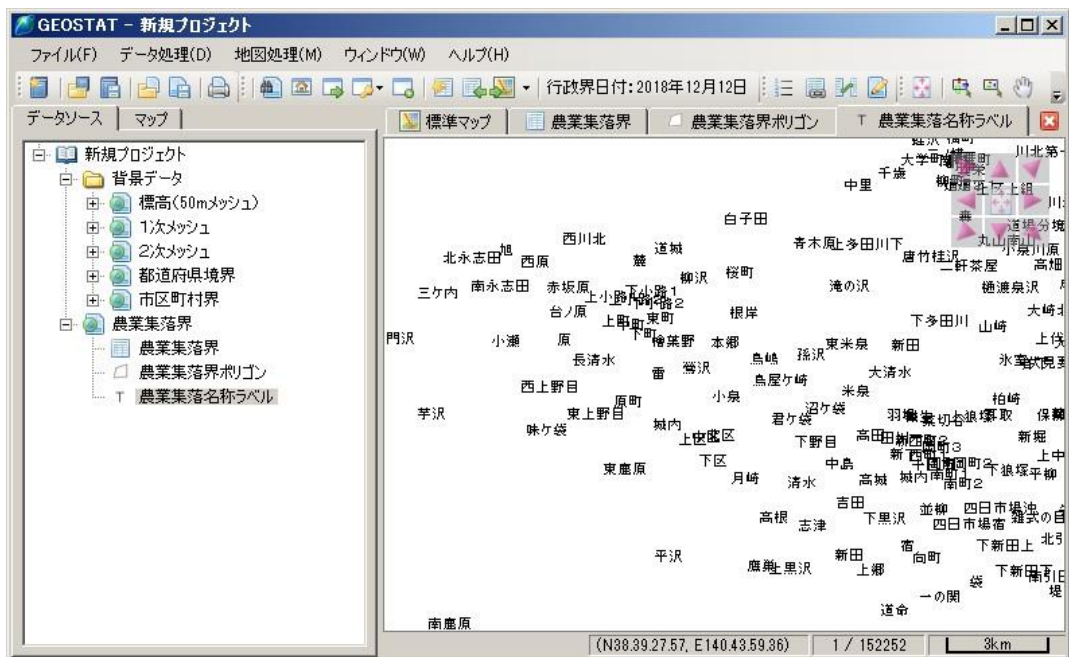
ここではフォントサイズを8ポイントに変更し、[OK]をクリックします。



農業集落名称ラベルが作成されました。(画面は文字の集合で黒くなっています。)



拡大ツールで部分拡大します。



④ 農業集落地図の表示

「マップ」タブをクリックしてマップ画面に移動します。

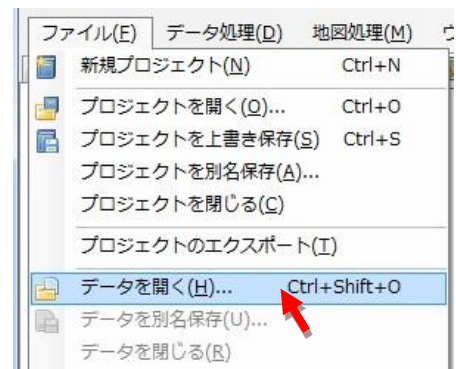
マップ画面では農業集落界ポリゴンと農業集落名称ラベルができています。

チェックを入れると、農業集落境界と、農業集落名が重ねあわせて表示されます。

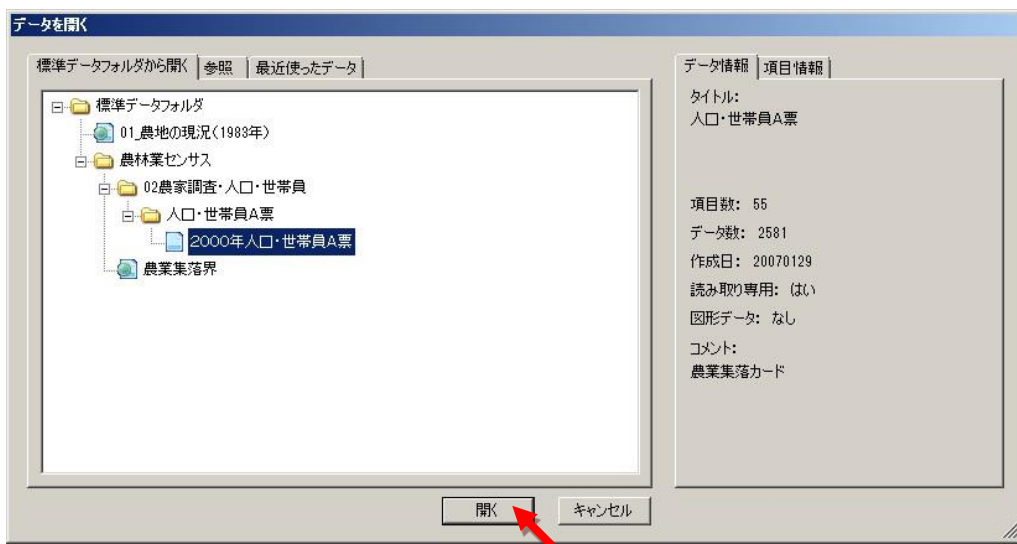


⑤ 統計データの読み込み

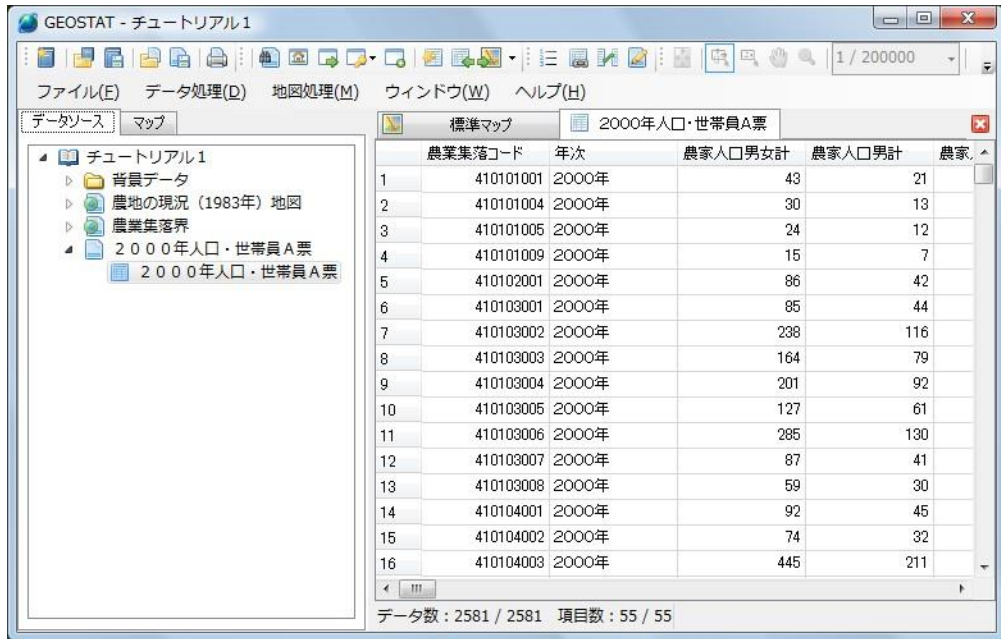
ファイルメニューより、「データを開く」を選択します。



「農林業センサス」、「02農家調査・人口・世帯員」、「人口・世帯員 A 票」フォルダの「2000 年人口・世帯員 A 票」を選択して、「開く」をクリックします。



「2000年人口・世帯員 A 票」が読み込まれます。



農業集落コード	年次	農家人口男女計	農家人口男計	農家...
1	410101001	2000年	43	21
2	410101004	2000年	30	13
3	410101005	2000年	24	12
4	410101009	2000年	15	7
5	410102001	2000年	86	42
6	410103001	2000年	85	44
7	410103002	2000年	238	116
8	410103003	2000年	164	79
9	410103004	2000年	201	92
10	410103005	2000年	127	61
11	410103006	2000年	285	130
12	410103007	2000年	87	41
13	410103008	2000年	59	30
14	410104001	2000年	92	45
15	410104002	2000年	74	32
16	410104003	2000年	445	211

⑥ 統計データの地図表示

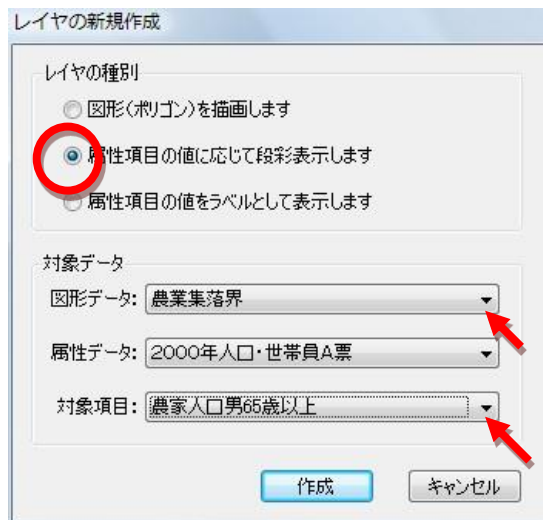
統計データは、地図データと属性データのリレーション（連結）を設定して地図表示します。



データソース画面で、「2000年人口・世帯員 A 票」が選択されていることを確認し、地図処理メニューの「新規レイヤ」を選択します。

「レイヤの新規作成」パネルが開きます。「属性項目の値に応じて段彩表示」を選択します。

次に図形データに「農業集落界」、対象項目に「農家人口男 65 歳以上」を選び、「作成」をクリックします。



レイヤの新規作成

レイヤの種類

図形(ポリゴン)を描画します

属性項目の値に応じて段彩表示します

属性項目の値をラベルとして表示します

対象データ

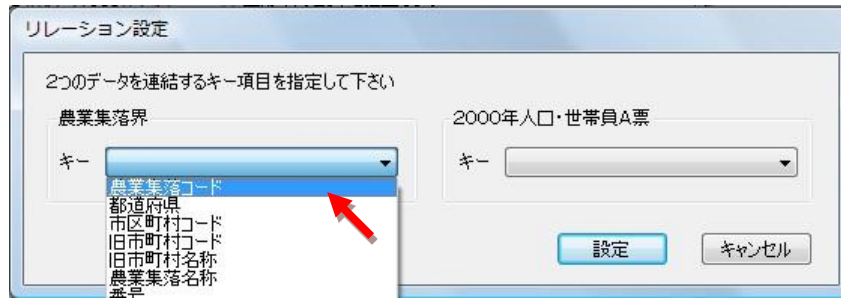
図形データ: 農業集落界

属性データ: 2000年人口・世帯員A票

対象項目: 農家人口男65歳以上

作成 キャンセル

「リレーション設定」パネルが開きます。農業集落界と2000年人口・世帯員 A 票を結び付ける キー項目を指定します。ここではいずれも「農業集落コード」を指定します。



設定をクリックします。



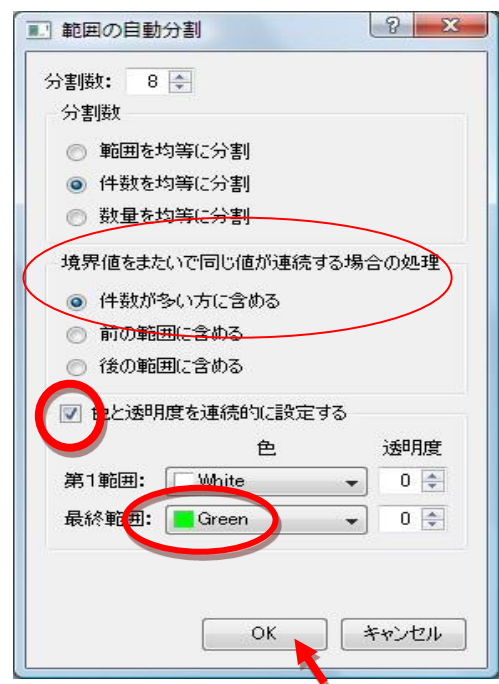
「範囲の自動分割」パネルが開きます。

「境界値をまたいで同じ値が連続する場合の処理」のデフォルトは「件数の多いほうに含める」ですが、必要に応じて変更します。

「色と透明度を連続的に設定する」にチェックを入れます。

最終範囲の色をデフォルトの Red から、Green に替えます。

「OK」をクリックします。



「レイヤ表示設定」パネルが開きます。

凡例名、範囲最小、範囲最大は、クリックすると反転しますので、キーボードから適宜変更します。

今回は、右図のように変更して、「OK」をクリックします。

(注) 範囲最大<最小>を変更すると、次のクラスの範囲最小<最大>および凡例名が自動的に変更されます。

レイヤ表示設定

レイヤ情報
 図形データ: 農業集落界
 レイヤ名: 農家人口男65歳以上色分け
 レイヤ種別: 段階的マルチスタイル

表示スケール
 最小: 1 / 10000
 最大: 1 / 50000000

参照する属性
 属性データ: 2000年人口・世帯員A票
 項目: 農家人口男65歳以上

標準スタイル
 範囲外のデータに標準スタイルを適用する
 値がないデータに標準スタイルを適用する

	凡例名	範囲最小	範囲最大	件数	数値
4	13~15	13	15	339	
5	16~19	16	19	391	
6	20~25	20	25	398	
7	26~30	26	30	217	
8	31人以上	31	100	321	

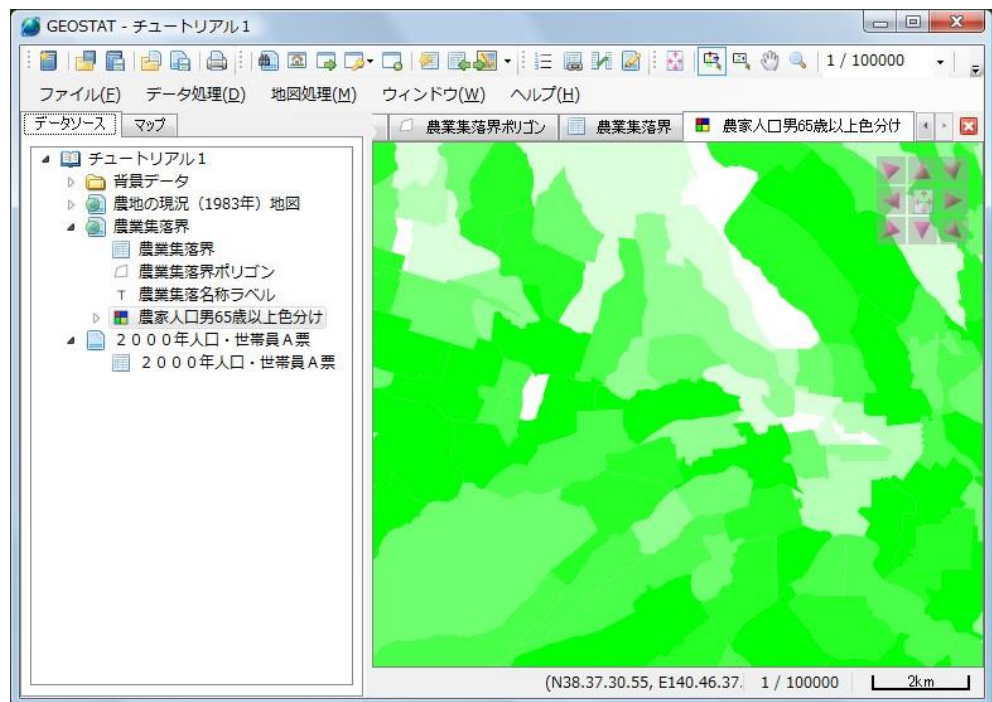
数値精度 0

範囲作成 範囲削除

保存スタイルを読み込み... 現在のスタイルを保存...

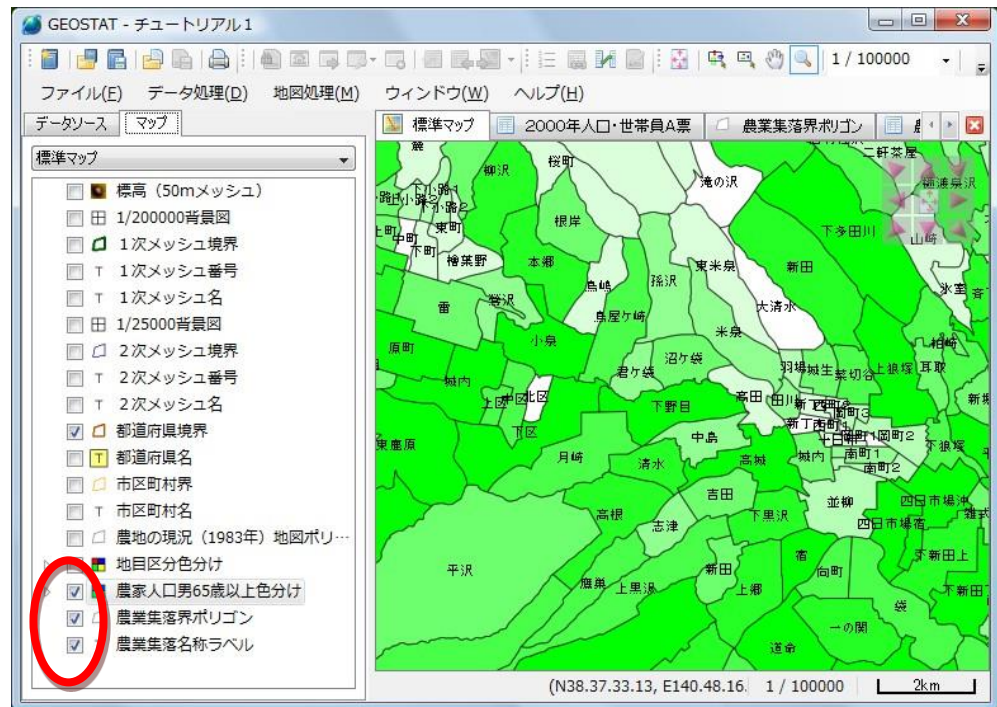
OK キャンセル 適用

「農家人口男 65 歳以上色分け」が表示されました。



⑦ レイヤの重ね合わせ順の変更

マップ画面では、右のレイヤエクスプローラが一番下のレイヤーが、左の表示画面では一番上に表示されます。この順番は、ドラッグ&ドロップにより、簡単に変更できます。下図では、「農業集落界ポリゴン」、「農業集落名称ラベル」を「農家人口男 65 歳以上色分け」より前面に移動しています。



ファイルメニューの「終了」を選択し、プロジェクト「チュートリアル1」を「上書き保存」して GEOSTAT を終了します。

■ 基本操作3 データ加工編集

データファイルを加工・編集して、地域分析指標を作成します。

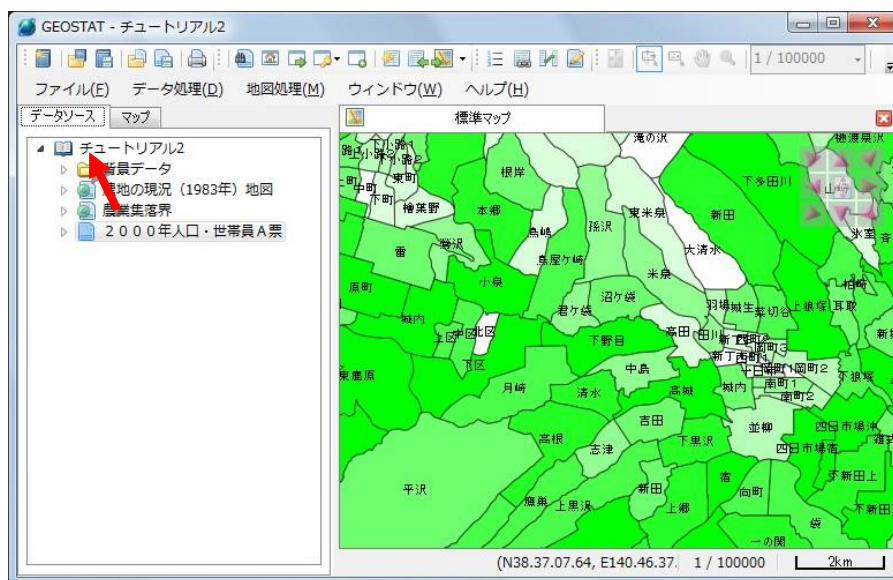
(プロジェクトファイルからプロジェクトを開く)

基本操作2で保存したプロジェクトファイル「チュートリアル1.gsp」をダブルクリックします。
GEOSTAT が起動し、保存したときの画面が表示されます。

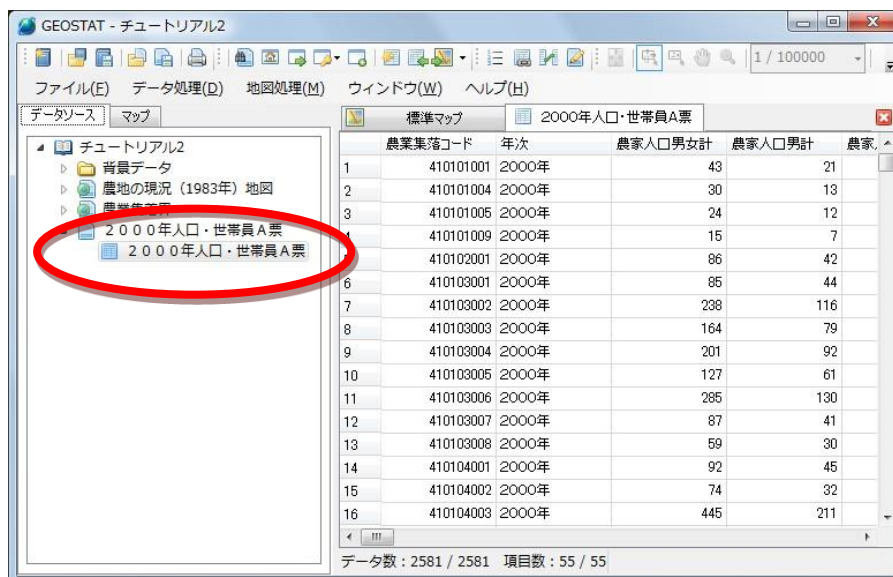
(ユーザーファイルの作成)

統計データファイルは、通常データの変更ができない、「読み取り専用」になっています。
最初に加工編集用の読み書き自由な分析用のファイルを作成(コピー)します。

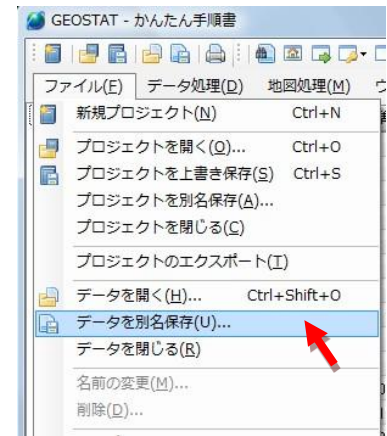
- ① 「データソース」をクリックします。



- ② 加工編集するデータ(ここでは2000年人口・世帯員A票)をクリックします。



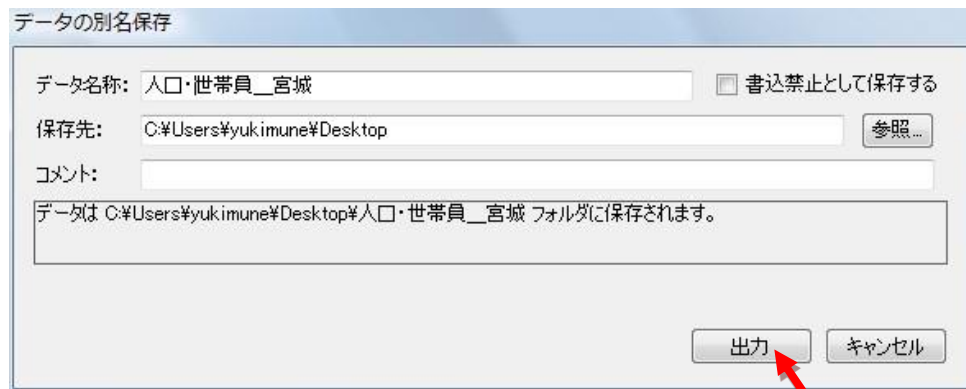
③ ファイルメニューから、「データを別名保存」を選択します。



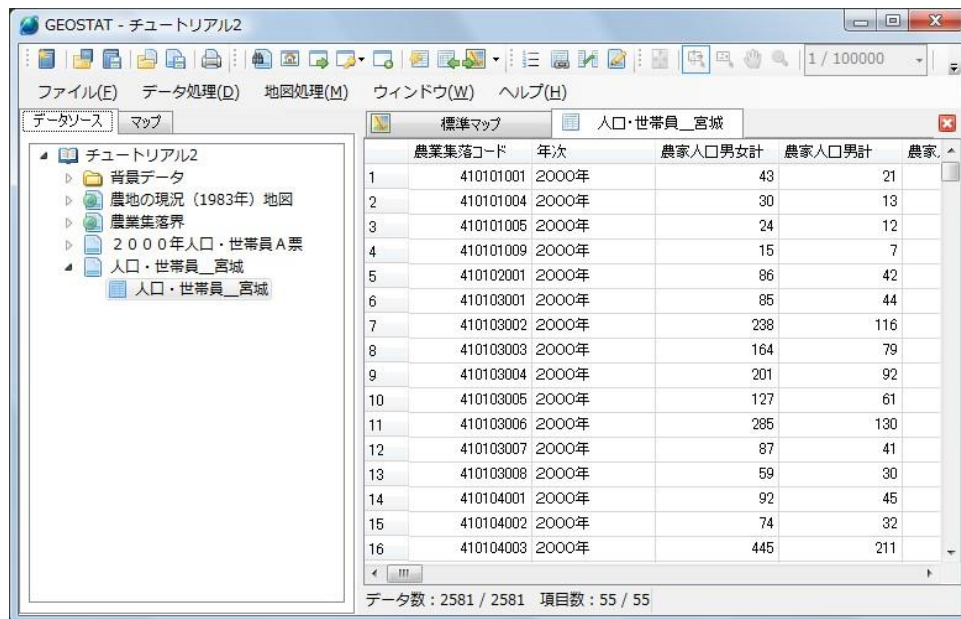
④ 「データの別名保存」パネルが表示されます。

保存先を指定します。ここではデスクトップとします。

データ名称(ここでは「人口・世帯員__宮城」)を入力して、「出力」をクリックします。



ユーザーファイル「人口・世帯員__宮城」ができました。

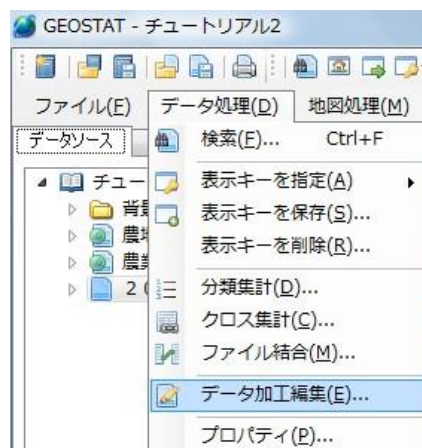


(データ加工・編集画面)

データ加工編集は、データファイルについて計算と編集を行う機能を併せもっています。
処理を組み合わせることで「いろいろな分析」を行うことができます。

データ処理メニューから「データ加工編集(E)」を選択します。

加工編集画面が表示されます(次ページ)。



(加工編集の概要)

データを編集する画面です。データファイル(オリジナルファイル)から、データの抽出、分割ファイルの作成などをビジュアルに行います。

データ数① 項目編集ボタン④ 項目名(カラム)② 切替ボタン③



No	i1 基本指標	i2 都道府県	i3 市区町村	i4 旧市町村	i5 農業集落	i6 都道府県...	i7 市区町村...	i8 旧市...
1	2213405013	22	134	05	013	静岡県 南区	五島オ	
2	2221317005	22	213	17	005	静岡県 掛川市	横須野	00 75
3	2213405014	22	134	05	014	静岡県 南区	五島オ	01 807
4	2213405015	22	134	05	015	静岡県 南区	五島オ	02 445
5	2213405016	22	134	05	016	静岡県 南区	五島オ	03 342
6	2213405017	22	134	05	017	静岡県 南区	五島オ	04 339
7	2213405018	22	134	05	018	静岡県 南区	五島オ	05 310
8	2220301007	22	203	01	007	静岡県 沼津市	沼津市	06 284
9	2220301008	22	203	01	008	静岡県 沼津市	沼津市	07 170
10	2213406002	22	134	06	002	静岡県 南区	新津才	08 200
11	2221012008	22	210	12	008	静岡県 富士市	富士川	
12	2221317006	22	213	17	006	静岡県 掛川市	横須野	
13	2221008003	22	210	08	003	静岡県 富士市	富士市	
14	2221317007	22	213	17	007	静岡県 掛川市	横須野	
15	2221008004	22	210	08	004	静岡県 富士市	富士市	
16	2222205015	22	222	05	015	静岡県 伊豆市	西豆オ	12 46
17	2213303003	22	133	03	003	静岡県 西区	吉野村	13 67
18	2221115016	22	211	15	016	静岡県 磐田市	掛塚町	14 38
19	2221115017	22	211	15	017	静岡県 磐田市	掛塚町	15 57
20	2213402007	22	134	02	007	静岡県 南区	芳川村	16 16
								17 14

① データ数は、 現在の表示数/全データ数 です。

「ALL」 ボタンをクリックすると、全データを表示対象にします。

「△▼」 ボタンをクリックすると、表示と非表示のデータを入れ替えます。

「<-」 ボタンをクリックすると、直前の表示状態に戻します。

② 項目名(カラム)をクリックすると、項目データを編集メモリに読み込みます。

(注) 「▽」 ボタン(表の右上にあります。)をクリックすると、項目名の一覧を表示します。

一覧の項目名をクリックしても、項目のデータ(値)をデータビューに読み込みます。

③ 編集メモリ内容を表示するデータビューには、集約表示と一覧表示があります。

集約表示は、データ（値）ごとに件数を集計して表示します。（切替ボタンは「L」を表示）

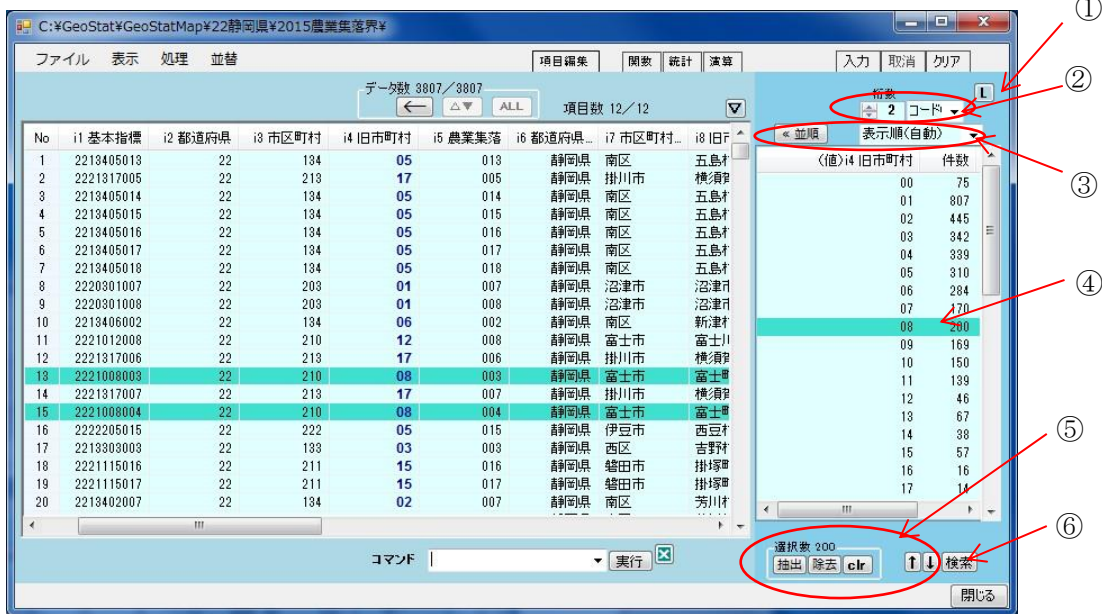
一覧表示は、データを個別に表示します。（切替ボタンは「Σ」を表示）

④ 項目編集ボタンをクリックすると、カラムと行が入れ替わり、項目を編集（項目の並び替え、項目の抽出）することができます。

「編集了X」ボタンをクリックすると、元に戻ります。



抽出、除去、並び替え、値の編集・入力はこのウインドウで行います。



① 切り替えボタン

集約表示（ボタンはLを表示）は、値と値ごとの件数として表示します。

一覧表示（ボタンはΣを表示）は、編集メモリのデータを個別に表示します。

② 種別と小数点（一覧表示と共通）

種別には数値、分類、文字等があり、プルダウンメニューから変更できます。

少数点（数値のみ表示）は、小数点以下の桁数です。

③ 表示順のプルダウンメニューと「<<並替ボタン」。

ファイルの順、値の大きい順、値の小さい順、件数の多い順、件数の少ない順、

右昇順（文字）、右降順（文字）（文字列の右から昇順または降順に並び替えます）

「<<並替」をクリックするとデータビューの並順にファイルを並び替えます。

④ 表示データをクリックすると、クリックした値が選択されます（着色表示）。

マウストラッグまたは「shift」、「ctrl」キーを併用すると複数の値が選択できます。

⑤ 選択したデータについて、次の操作を行います。

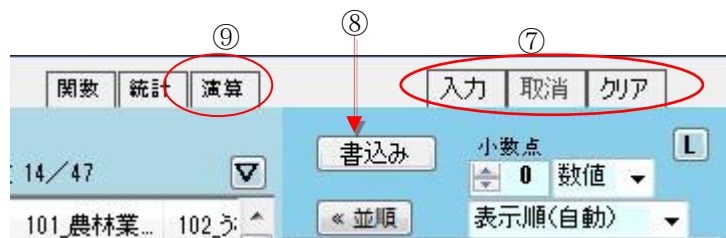
「抽出」「除外」「clr」ボタン 選択したデータを抽出、除外、クリアします。

「↑」、「↓」ボタン 選択行の表示順を変更します。

(Shift キーを併用すると選択したデータは、先頭または最後尾に移動します。)

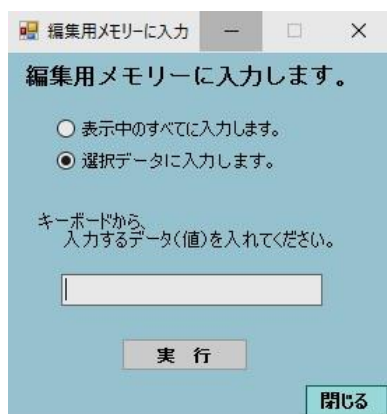
⑥ データビューに読み込んだデータについて、値の検索を行います。

つづき



⑦ 「入力」、「取消」、「クリア」ボタン

「入力」ボタンをクリックすると、「編集メモリに入力」画面が表示されます。



キーボードから値を入力し、「実行」をクリックします。

「選択データに入力します。」

選択したデータに値を入力します

「表示中のすべてに入力します」

表示中の全データに値を入力します。

「取消」ボタン 編集メモリに対して行った操作を取り消します。

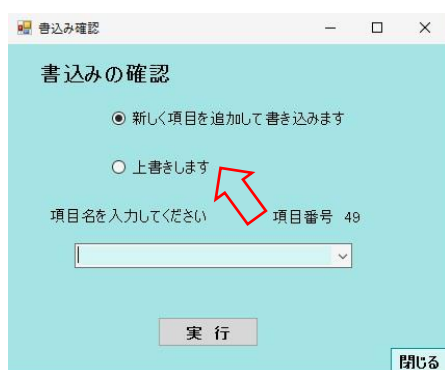
「クリア」ボタン 編集メモリをクリアし、初期状態にします。

⑧ 「書込み」ボタン

データ加工編集では、編集メモリで作業を行いますので、処理結果はファイルに書き込む必要があります。書き込まないと結果は残りません。

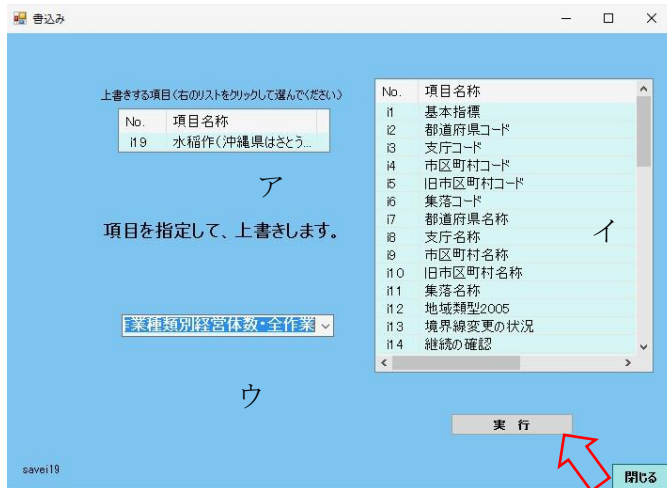
(注) 書込みボタンは、書き込みが禁止されているファイルでは表示されません。

「書込み」ボタンをクリックすると、「書込みの確認」画面が表示されます。



新規に書込む場合は、項目名をキーボードから入力して「実行」をクリックします。

「上書きします」を選択すると「項目を指定して上書き」ウインドウが開きます。



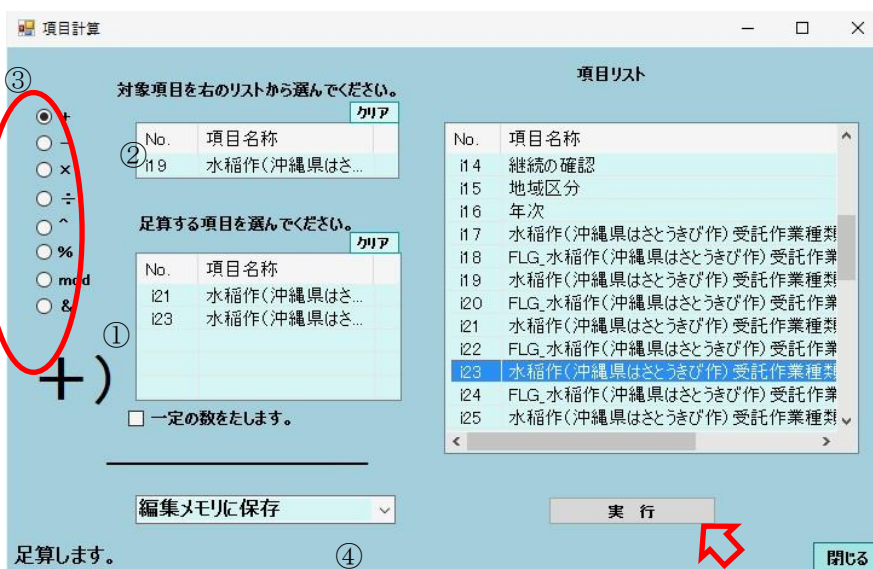
- ア あらかじめ、上書きする項目候補を表示している場合があります。良ければそのまま、「実行」をクリックします。
- イ 右の項目リストから、項目名をクリックして上書きする項目を指定します。
- ウ 項目名称はキーボードから入力します。「実行」をクリックするとファイルに書き込みます。

(項目演算)

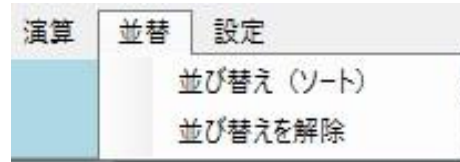
⑨ 「演算」ボタン

項目間の四則演算等を行います。

演算結果は、編集メモリに格納されます。結果は「書き込み」により保存します



(並び替え)



(ア) 並び替え(ソート)

項目の値により、並び替えを行います。

ここでは、複数の項目を使用して並び替えを行うことができます。



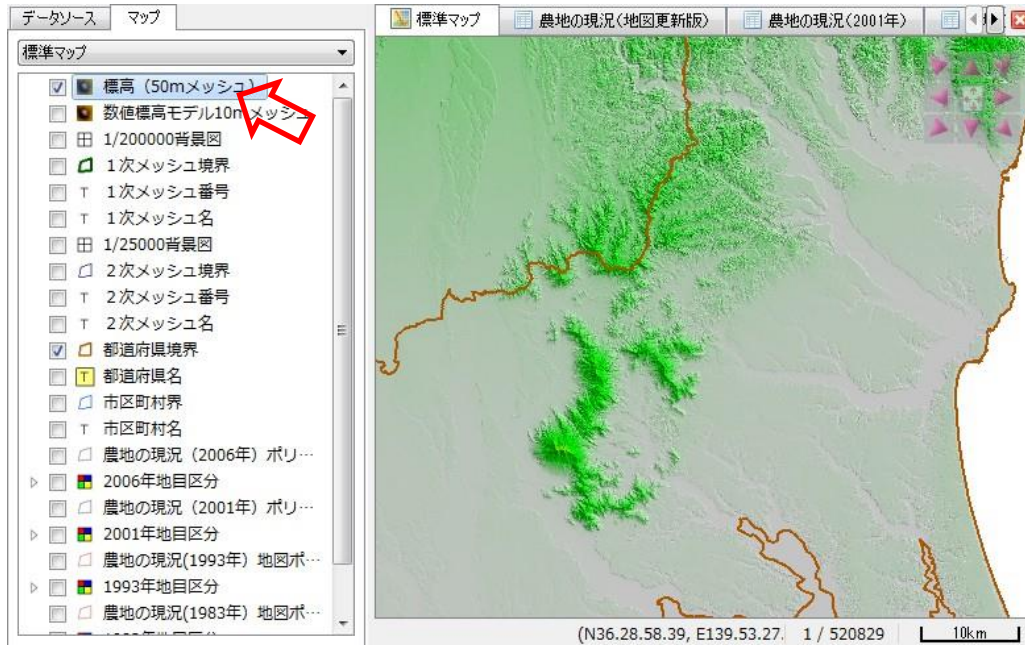
(イ) 並び替えの解除

並び替えを解除して、データをファイルの出現順に表示します。

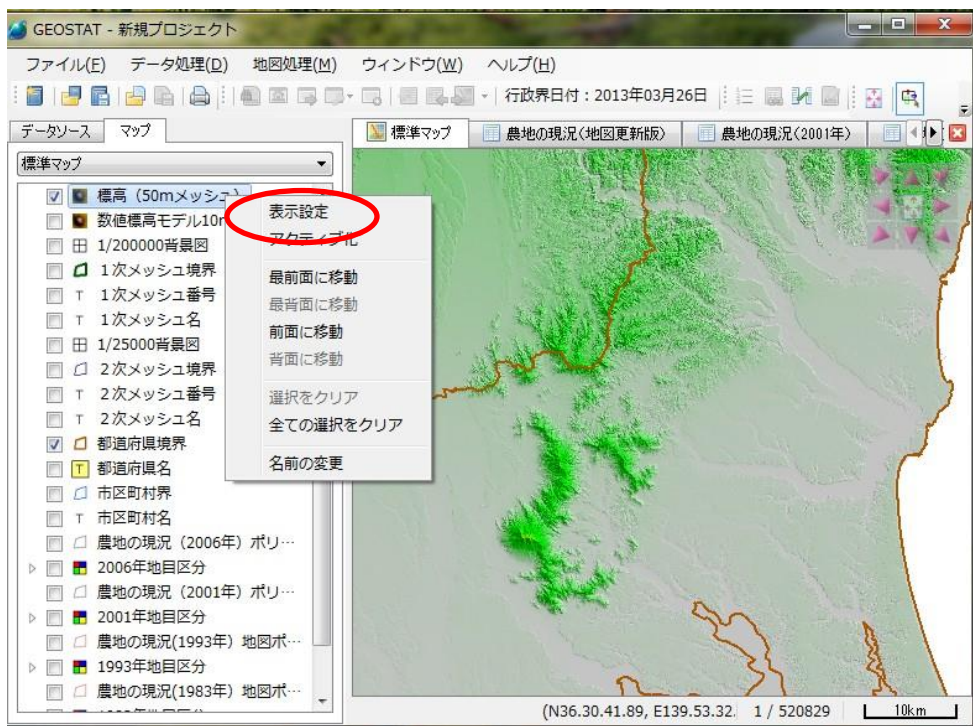
■ 基本操作4 背景図の機能

(標高の表示設定)

標高別に彩色を設定して、主題図にあった背景図を作成することができます。
設定する標高データを右クリックします。



表示されるコンテキストメニューから、「表示設定」を選択します。



レイヤー設定画面が表示されます
(次ページ)

変更する色をダブルクリックします。「値 (標高m)」もダブルクリックにより変更します。
 (色と値の範囲数は、「追加」ボタンと「削除」ボタンにより増減します。)

レイヤ表示設定

レイヤ情報
 図形データ: 標高(50mメッシュ)
 レイヤ名: 標高(50mメッシュ)
 レイヤ種別: グリッド

表示スケール
 最小: 1 / 100000
 最大: 1 / 5000000

カラースケール

色	値
1	0
2	500
3	1000
4	2000
5	3200
6	6000

追加
削除

色を連続的に実体化させる
 スケール最小値を下回るデータは描画しない
 スケール最大値を上回るデータは描画しない

定義済設定
 定義済み設定を読み込み
 この設定を名前を付けて保存

陰影
 光の方向 高度 45 方位角 45
 陰影 暗い 明るい 64
 高さ方向強調 平ら 高い 1.0

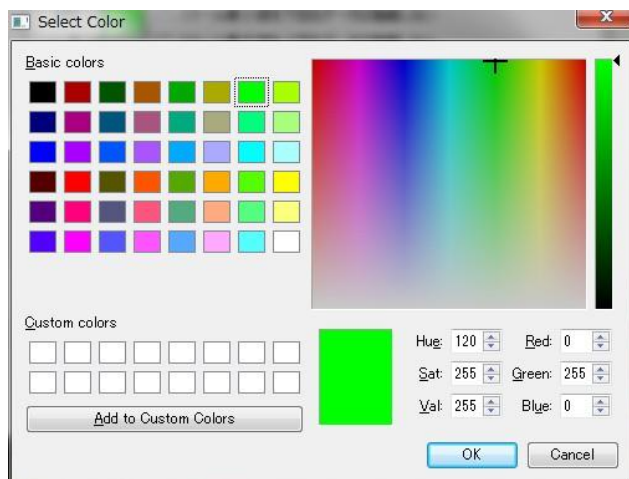
保存スタイルを読み込み
 現在のスタイルを保存

OK キャンセル 適用

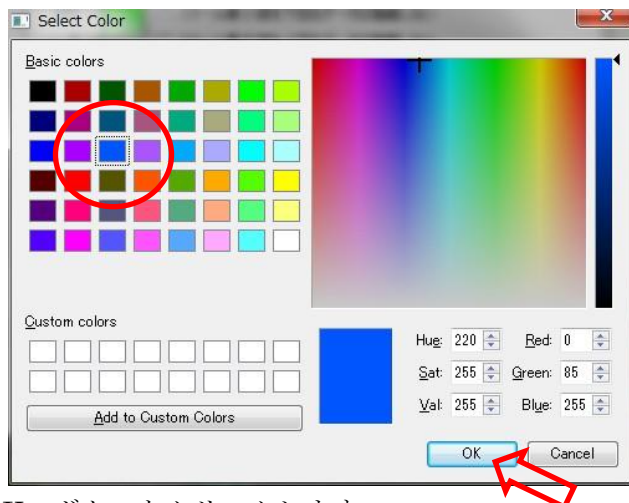
陰影をつけると、更に標高がわかりやすく描画できます。
 設定項目：光源の高度と方位角、
 陰影の明暗、高さの強調

作成した設定、スタイルは名前を付けて保存することができます。

Select Color 画面が表示されます。



設定するカラーをクリックします。

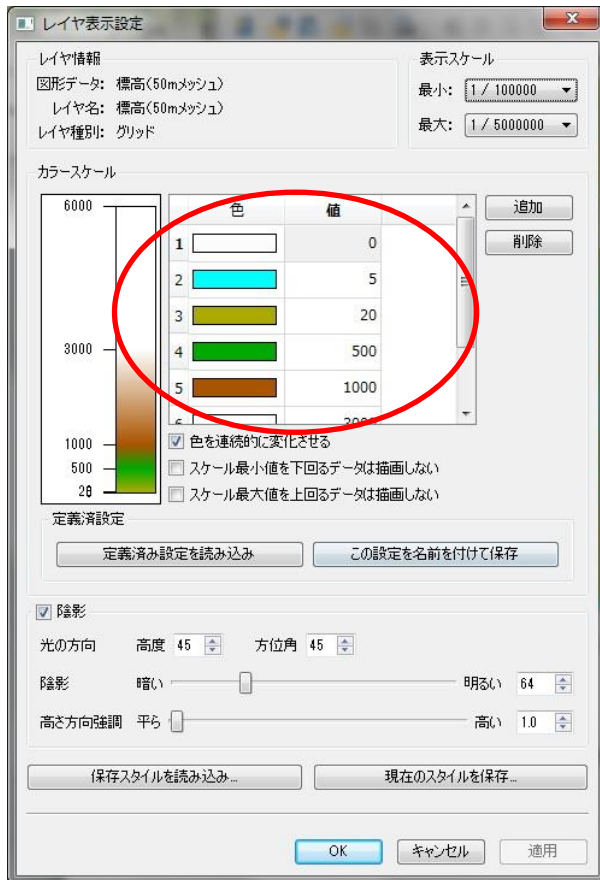


「OK」ボタンをクリックします。

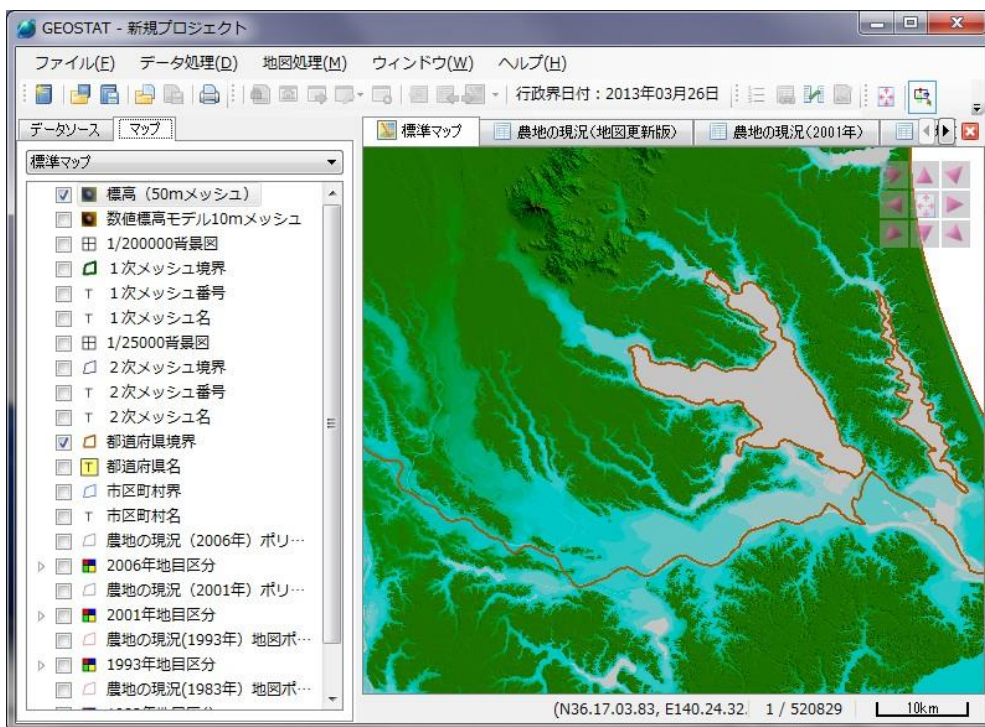
(設定例)

範囲わけの値と色を変更します。

(下図では値を0, 5, 20, 500 (m)に変更しています。)

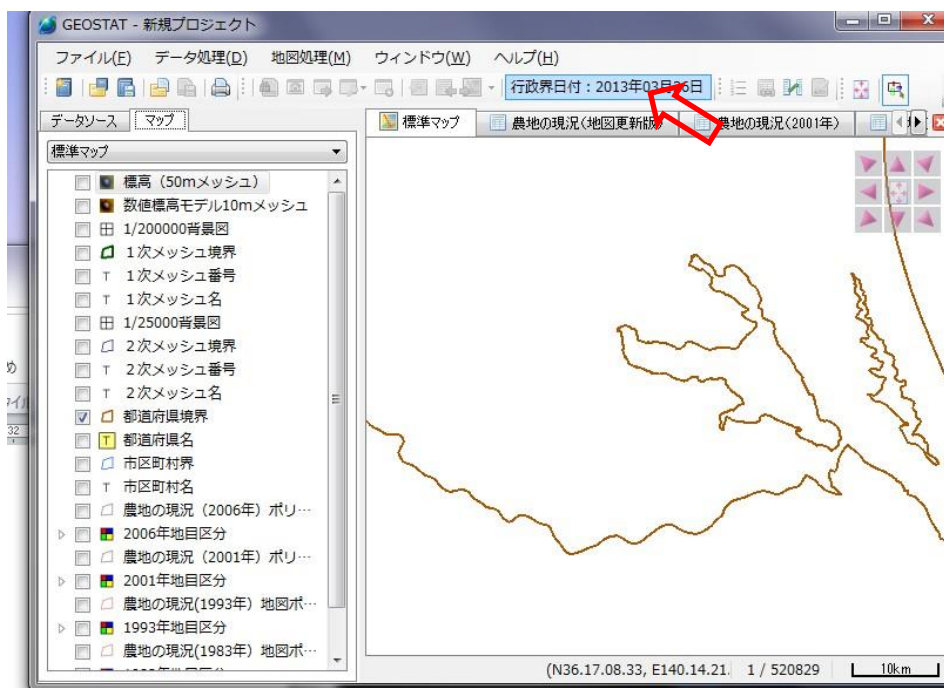


標高 5m を中心に水色に彩色した例



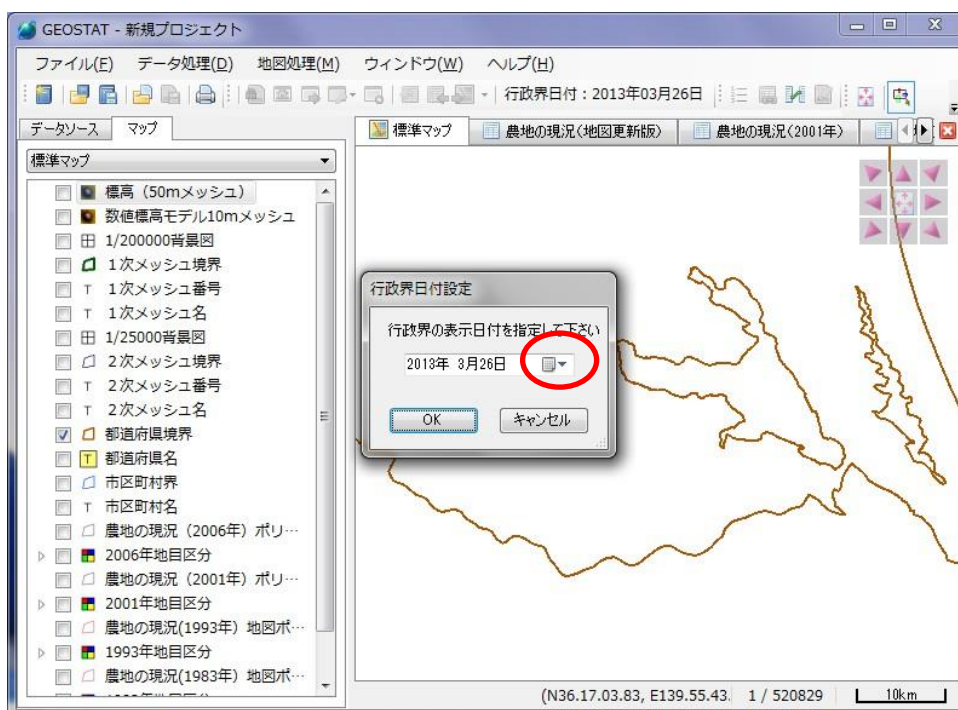
(行政界の年月日の設定について)

メニュー下部の行政界日付をクリックします。

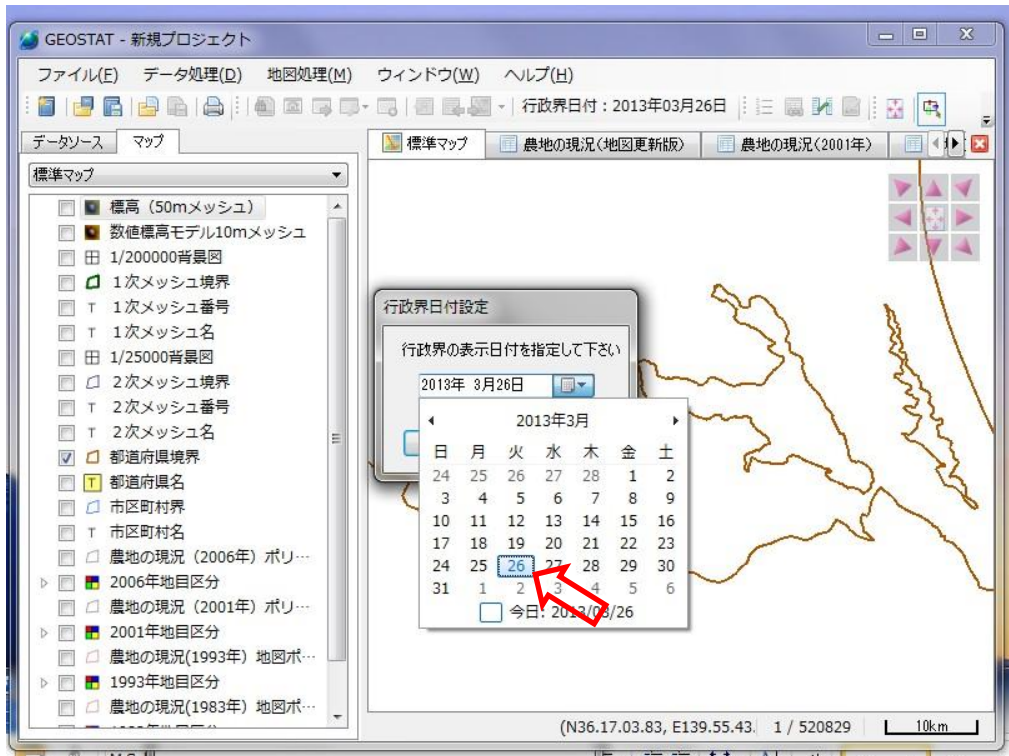


行政界日付設定画面が表示されます

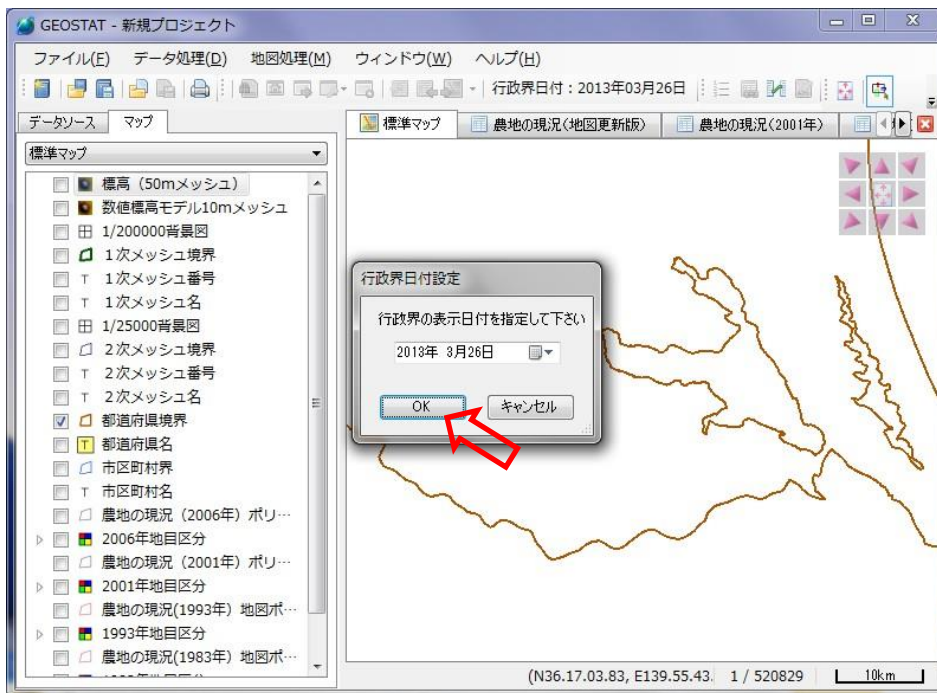
中央の年月日欄の右にあるカレンダーマークをクリックします。



カレンダーが表示されますので、設定する日付を選択してください。



「OK」ボタンをクリックして完了してください。



行政界(市区町村界、都道府県界)は設定した年月日のそれが表示されます。

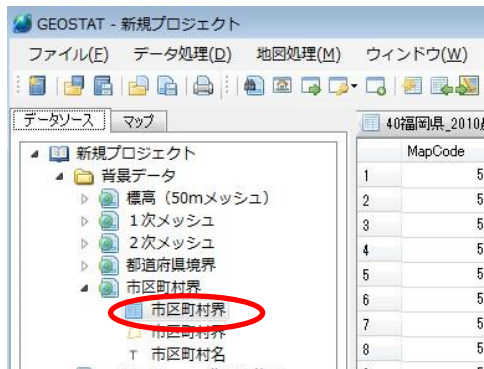
(マスクの作成)

必要な地域のみ地図を描画するには、マスクを利用します。

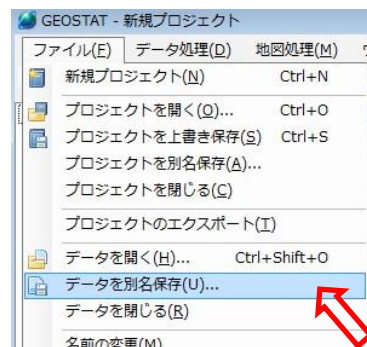
特に、標高メッシュ、地形図などのラスターデータの背景図は、マスクが必要になります。

(行政区などのポリゴンデータ背景図は、検索により描画するしないを操作できます。)

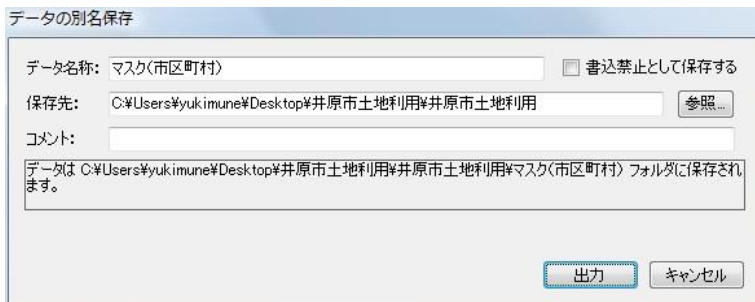
データソース画面で、背景データの中から市区町村界データを選択



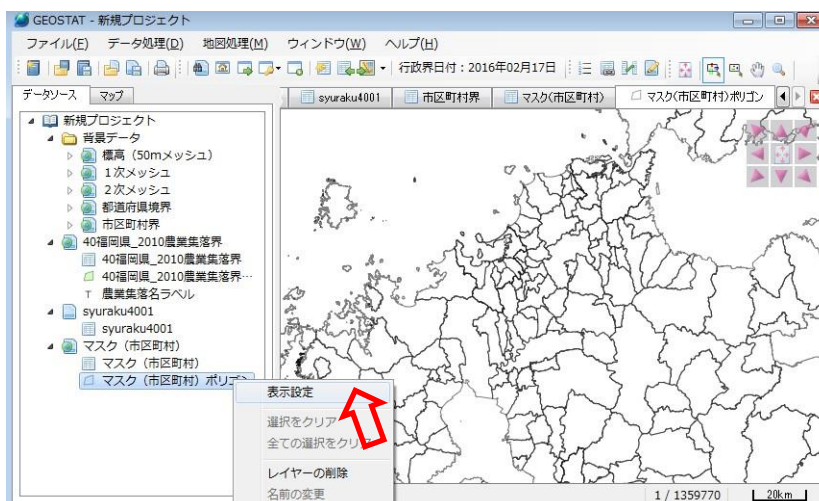
ファイルメニューから「データを別名保存 (U)」を選択



ファイル名 (ここではマスク(市区町村)) を付けて別名保存します。

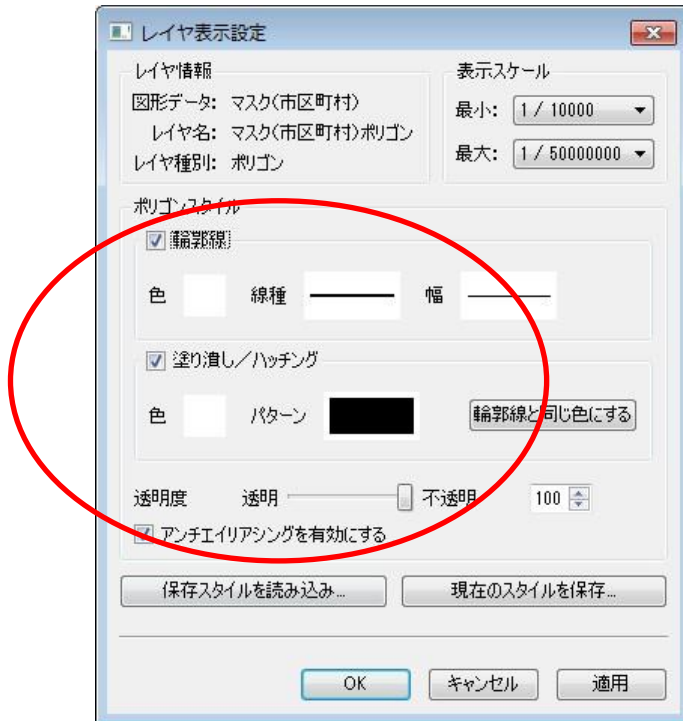


保存した「マスク (市区町村)」ポリゴンを右クリックして表示されるコンテキストメニューから表示設定を選択します。



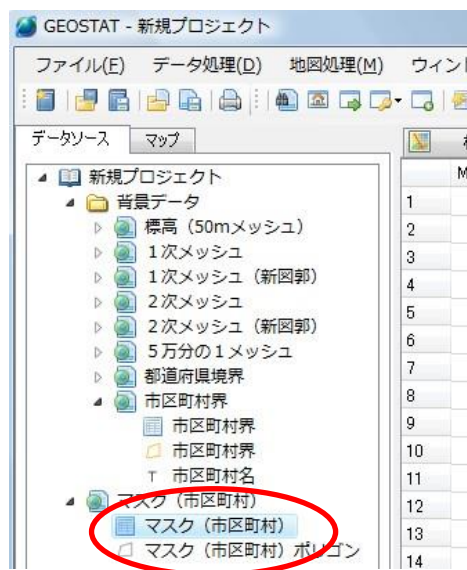
表示設定画面が表示されます。

ポリゴンスタイルの輪郭線のチェックを外し、塗りつぶし/ハッチングにチェックを入れ、塗りつぶし色を指定します。ここでは白色に変更しています。透明度は適宜設定してください（ここでは100%不透明を指定しています。）。

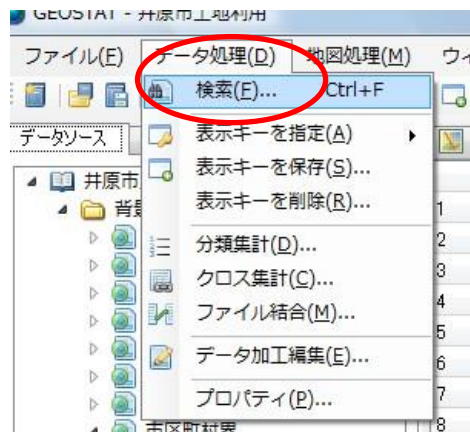


マスク（市区町村）の市区町村データから描画する市区町村データを除外します。

データソース画面で、「マスク（市区町村）」を選択します。



データ処理メニューから「検索」を選択

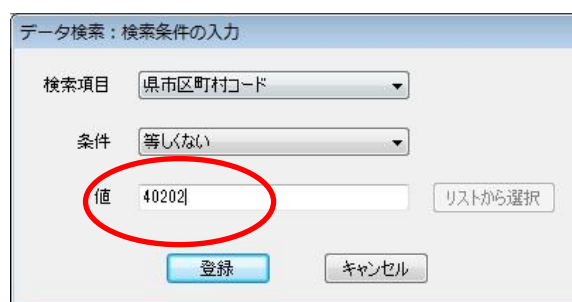


表示される検索条件ウインドウで、条件追加を選択します。



表示される検索条件の入力画面で、描画する市区町村（ここでは「40202」）のコード以外のデータを検索します。

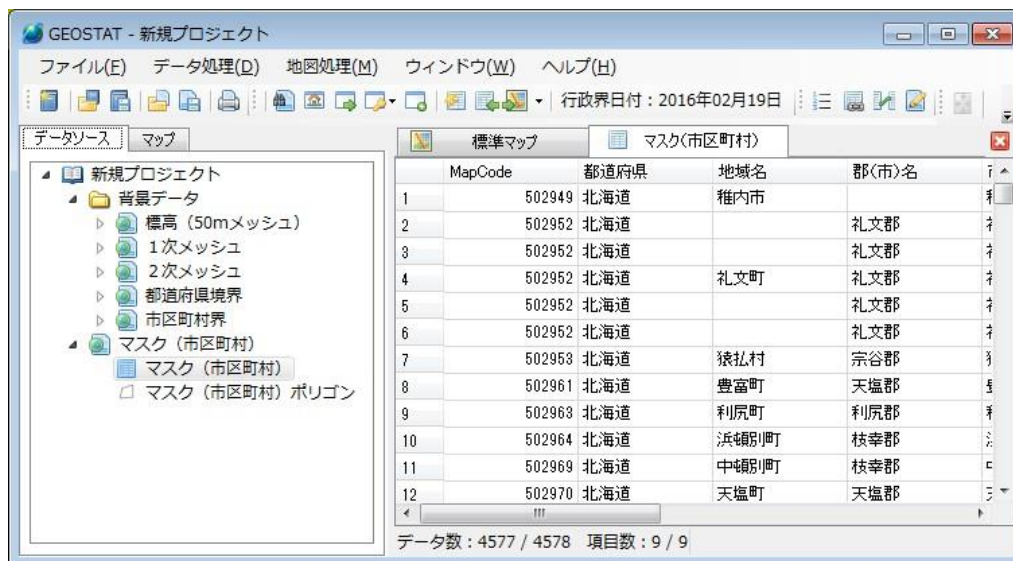
検索項目に「県市区町村コード」、条件は「等しくない」、値は「40202」を指定します。登録して検索を実行します。



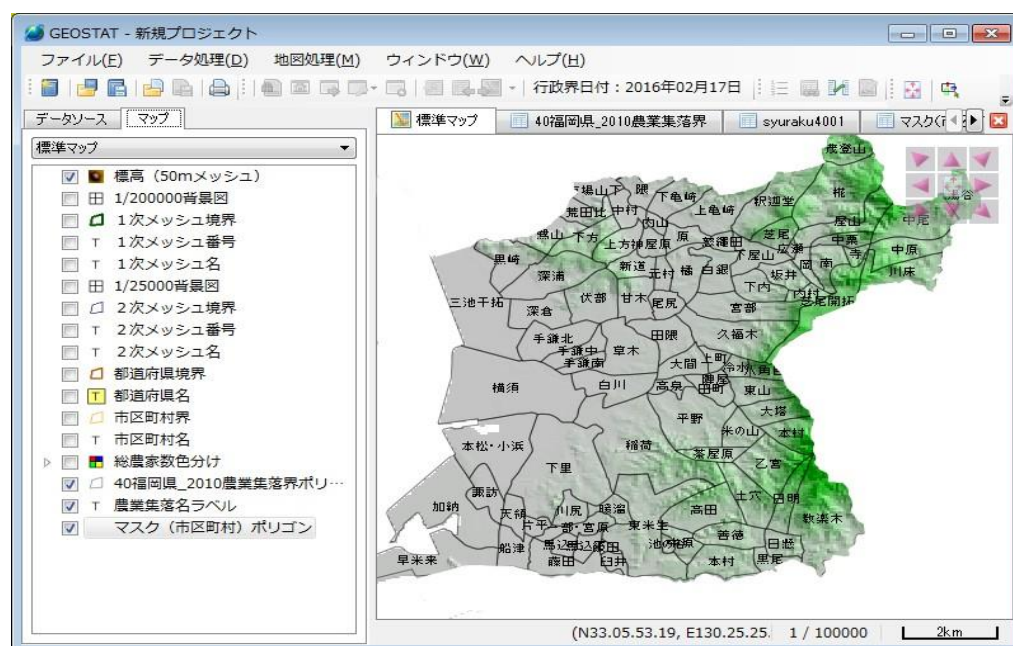
結果の確認が表示されます。



検索結果が表示されます。



「マスク (市区町村) ポリゴン」レイヤにチェックを入れます。該当した市町村はマスクされ、白色(マスクの色です)になっています。そしてマスクされなかった市町村（ここでは40202の市町村）が描画されています。



(参考) 画面左のエクスプローラに表示されているレイヤタイトルはレイヤの表示順 (重なり順) になっています。ドラッグ&ドロップにより適宜変更してください。レイヤの表示順によっては、必要な文字が隠れてしまう場合 (ここでは集落名称が一部隠れています。) があります。

■ 基本操作5 データの入出力

(CSVファイルのインポート)

メニュー:「ファイル」－「インポート」－「CSVファイル」

- ① メニューを選択するとファイル選択画面が表示されるので、インポートする CSV ファイルを指定します。
- ② 区切り文字の指定
項目区切り記号をカンマ、タブ、セミコロン、スペースの中から指定します。(CSV ファイルは「,」カンマです。)
- ③ インポートする項目の指定
「項目名」にはインポートする項目の名称を指定します。
「項目種別」にはインポートする項目の種別を指定します。
項目がインポート不要の場合は「この項目をインポートしない」をチェックします。
- ④ ポイント座標の設定
CSV ファイルに座標データが含まれている場合は、ポイントとしてインポートできます。
- ⑤ データの保存先、諸元の指定
「データ名称」には保存するデータの名称を指定します。データのファイル名になります。
「書込禁止として保存する」をチェックすると、読み込み専用のデータとして保存されます。
「保存先」にデータを保存するフォルダを指定します。「参照」ボタンをクリックすると、フォルダ選択画面が表示されるので、そこからフォルダを指定することもできます。

(シェープファイルのインポート)

メニュー:「ファイル」－「インポート」－「シェープファイル」

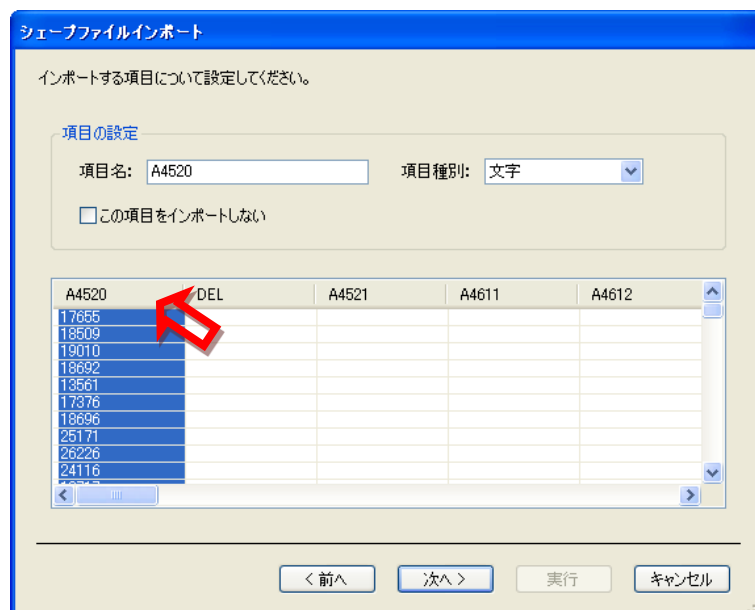
- ① インポートするファイルの指定
メニューを選択すると、ファイル選択ウインドウが表示されます。インポートするファイルを指定します。
- ② 座標系の指定
インポートするシェープファイルの座標系を指定するウインドウが表示されます。
測地系、座標系を指定します。本システムでは下表の測地系・座標系をサポートしています。

サポートする座標系

測地系	世界測地系
	日本測地系
座標系	緯度経度
	日本公共座標 (平面直角座標)
	UTM 座標

インポートしたデータが他の背景データ等とずれる、あるいは全く別の場所に表示される場合、座標系が正しく指定されていない場合があります。その場合は、データの作成元 (提供元) に座標系を確認してください。

③ インポートする項目の指定



指定したシェープファイルの属性データが表示されます。

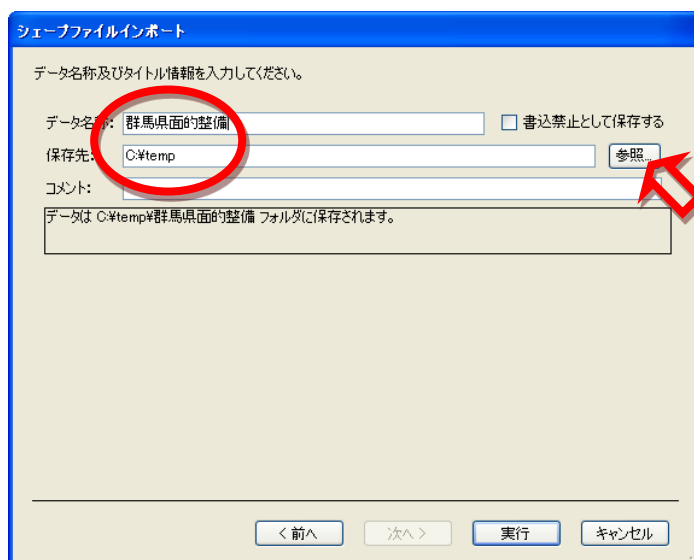
項目名（カラム）をクリックするとその項目の情報が「項目の設定」欄に表示されます。

項目名には、インポート後の項目の名称を指定します。

項目種別には、インポートする項目の種別を指定します。

インポート不要の項目は、「この項目をインポートしない」をチェックします。

④ データの保存先、諸元の指定



「データ名称」には保存した後のファイル名を指定します。

「書込禁止として保存する」をチェックすると、読み込み専用のデータとして保存されます。

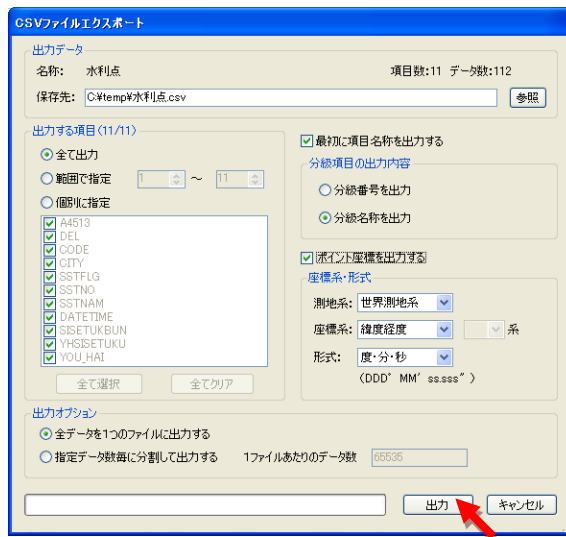
「保存先」にデータを保存するフォルダ名を指定します。

「参照」ボタンをクリックすると、保存先フォルダを変更することができます。

(CSV ファイルのエクスポート)

メニュー: 「ファイル」 - 「エクスポート」 - 「CSV ファイル」

メニューを選択すると、CSV ファイルエクスポート画面が表示されます。



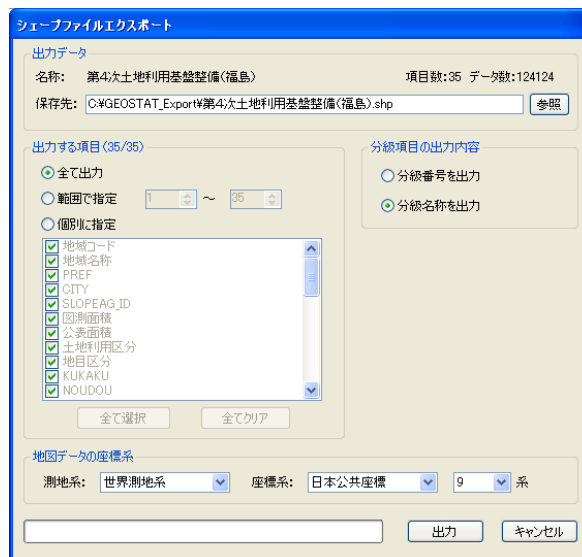
保存先と出力する項目を指定して、「出力」ボタンをクリックします。地図データのポイントデータを出力する場合は、座標系と形式を指定します。

(シェープファイルのエクスポート)

メニュー: 「ファイル」 - 「エクスポート」 - 「シェープファイル」

地図データをシェープファイル形式でアウトプットします。他のGISソフトで地図を表示編集することができます。

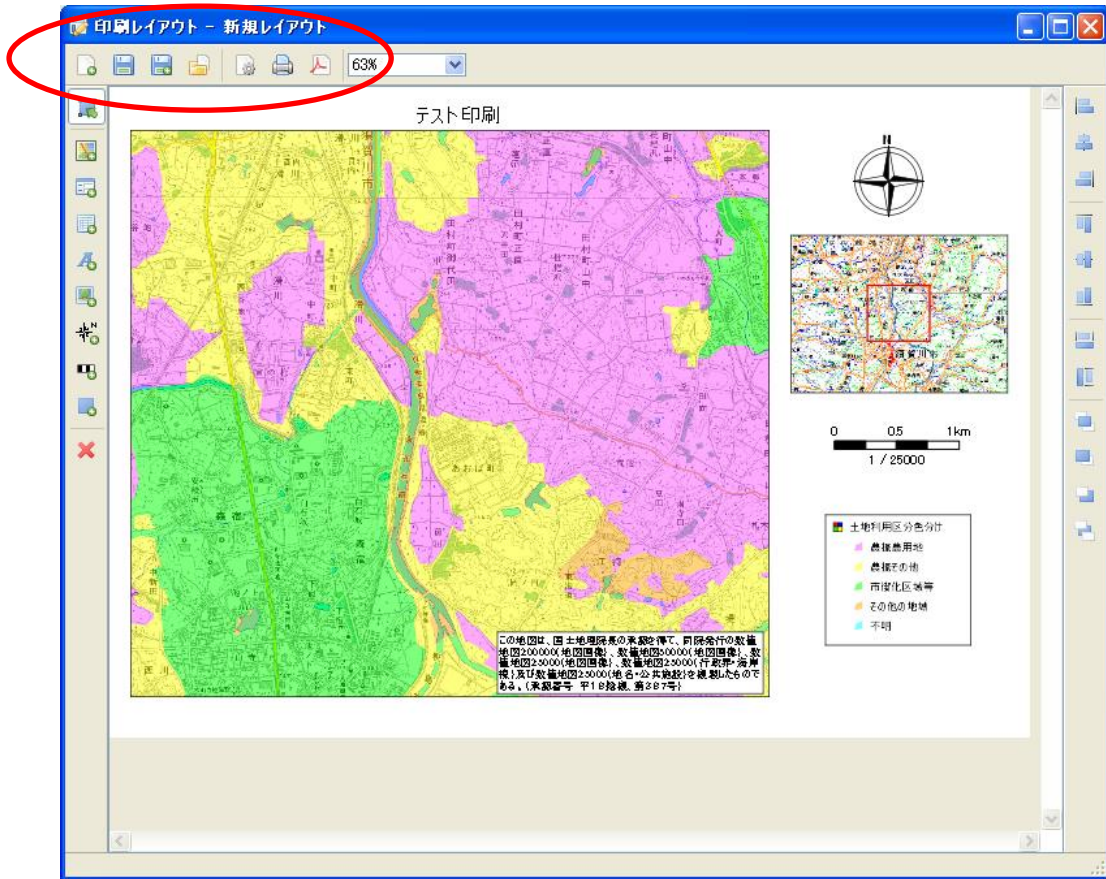
メニューを選択すると、シェープファイルエクスポート画面が表示されます。



保存先、出力項目、地図データの測地系と座標系を指定して「出力」ボタンをクリックします。

■ 基本操作6 レイアウト印刷

GEOSTATは、マップや凡例、任意のテキストや縮尺記号等を自由にレイアウトし、作成したレイアウトはすぐに印刷または、PDFにすることができます。



レイアウトの例

(レイアウトの操作)

レイアウト画面上部にはレイアウトの操作に関するツールボタンが配置されています。



レイアウト操作ツールボタン

① 新規レイアウト

印刷レイアウトメニューを実行すると、新しいレイアウトが開いた状態で印刷レイアウト画面が表示されるので、すぐにレイアウトの作成を始めることができます。再度新たなレイアウトを作成する場合は、「新規レイアウト」ボタンをクリックすると、現在のレイアウトを閉じ、新たなレイアウトが開かれます。

② 用紙設定

「用紙設定」ボタンをクリックすると、ページ設定画面が表示されます。ここでプリンタの選択や、用紙サイズや用紙の向きを設定します。この設定は現在開いている印刷レイアウトに対して有効となります。新規レイアウトを開いた場合は、最初に用紙設定をしてください。

③ 印刷

現在のレイアウトを印刷します。「印刷」ボタンをクリックすると、プリンタの設定画面が表示されます。プリンタが選択されていることを確認し、「印刷(P)」ボタンをクリックします。









④ PDF

本システムではレイアウトを PDF として出力することもできます。Adobe 社の Acrobat は必要ありません。「PDF」ボタンをクリックすると、出力先を指定するファイルダイアログが表示されます。出力先を指定し、「保存(S)」ボタンをクリックすると PDF 出力が開始されます。

(レイアウトアイテムの設定)

印刷レイアウト画面の左側にはレイアウト上に配置するアイテム（部品）とその操作に関するツールボタンが装備されています。

印刷レイアウトで利用できるアイテム

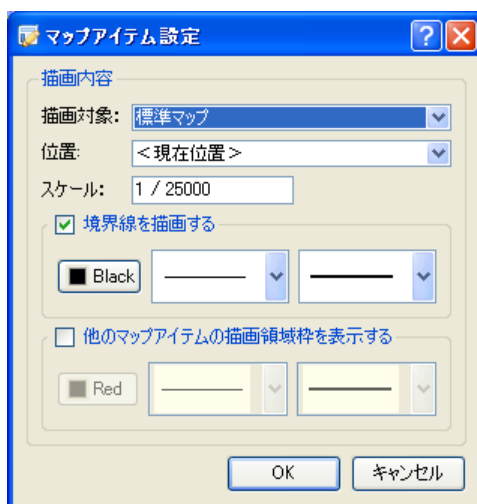
レイアウトアイテム	内 容
マップ 	<ul style="list-style-type: none">・ 地図を描画する・ 複数のマップ部品が定義することが可能・ 画面での表示状態とは別に、位置、スケール、表示レイヤーの設定が可能
凡例 	<ul style="list-style-type: none">・ 凡例を印刷する
表 	<ul style="list-style-type: none">・ 属性表を印刷する
テキスト 	<ul style="list-style-type: none">・ 任意のテキストを描画する・ テキスト内容の他、フォント、サイズ、色、輪郭線の有無等を指定することができる
イメージ 	<ul style="list-style-type: none">・ 任意のイメージを描画する・ イメージの拡大・縮小、フレームの有無を指定することができる
方位記号 	<ul style="list-style-type: none">・ あらかじめ用意されている方位記号パターンから選択されたものを描画する・ 方向（角度）を指定できる
縮尺記号 	<ul style="list-style-type: none">・ スケールを表示する
矩形 	<ul style="list-style-type: none">・ 任意の矩形を描画する・ 表示スタイル（ポリゴン）と同様の設定ができる

アイテムの基本操作

アイテムの描画

1. 描画したいアイテムのボタンをクリックします。
2. アイテムを描画する領域をマウスでドラッグします。
3. アイテムに応じた設定画面が表示されるので、設定を行います。

マップアイテムの設定を例に説明します。



「描画対象」にはこのマップアイテムで印刷したいマップ（あるいはレイヤ）を指定します。

「位置」は現在位置もしくは登録されている表示位置から選びます。

「スケール」に印刷での描画スケールを指定します。

「境界線を描画する」をチェックすると、マップアイテムの境界線を描画します。

アイテムの移動：

選択状態にあるアイテムは、マウスでアイテムをドラッグすることで移動することができます。また、キーボードの矢印キーでも移動することができます。

アイテムの再設定：

アイテムをマウスでダブルクリックすると、設定画面が表示され設定を変更することができます。

アイテムの削除：

アイテムを選択した状態で、「削除」ボタンをクリックすると選択されているアイテムを削除します。

平面直角座標系一覧

都道府県名	都道府県 番号	座標系	国土交通省告示 の座標系	都道府県名	都道府県 番号	座標系	国土交通省告示 の座標系
北海道	1	12	11, 12, 13	滋賀県	25	6	6
青森県	2	10	10	京都府	26	6	6
岩手県	3	10	10	大阪府	27	6	6
宮城県	4	10	10	兵庫県	28	5	5
秋田県	5	10	10	奈良県	29	6	6
山形県	6	10	10	和歌山県	30	6	6
福島県	7	9	9	鳥取県	31	5	5
茨城県	8	9	9	島根県	32	3	3
栃木県	9	9	9	岡山県	33	5	5
群馬県	10	9	9	広島県	34	3	3
埼玉県	11	9	9	山口県	35	3	3
千葉県	12	9	9	徳島県	36	4	4
東京都	13	9	9, 14, 18, 19	香川県	37	4	4
神奈川県	14	9	9	愛媛県	38	4	4
新潟県	15	8	8	高知県	39	4	4
富山県	16	7	7	福岡県	40	2	2
石川県	17	7	7	佐賀県	41	2	2
福井県	18	6	6	長崎県	42	2	1
山梨県	19	8	8	熊本県	43	2	2
長野県	20	8	8	大分県	44	2	2
岐阜県	21	7	7	宮崎県	45	2	2
静岡県	22	8	8	鹿児島県	46	2	1, 2
愛知県	23	7	7	沖縄県	47	15	15, 16, 17
三重県	24	6	6				

GEOSTAT Ver2. 2 かんたん手順書第2版

2015年 10月

地理統計情報株式会社

埼玉県春日部市粕壁1-6-1205

Tel:048-761-5558 Fax:048-788-9650

URL:<http://www.tiritoukei.co.jp>
